

THE MONTHLY REPORT

OF

SEITO JITSUGYO KIOKWAI.

AUGUST 1921 No. 43.



大 正 十 八 年 八 月

青 島 實 業 協 會

月 報

第 四 十 三 號

大正七年八月十九日第三種郵便物認可
大正十年八月二十日發行
(每月一回二十日發行)

△本號要目▽

□ 貿

□ 海

□ 商

□ 內

□ 協

□ 經

易

道

況

報

事

計

貨

運

內

外

會

濟

易

鐵

要

錄

事

統

易

道

況

報

事

計

▽青島實業協會月報 第四拾參號 目次△

貿易

△本年上半年青島貿易概況	一
△青島貿易概況(六月)	七
△主要移出入貨物情勢(六月)	八
△民船貿易(六月)	九

海運及鐵道

△青島港出入船舶(六月)	一〇
△內地近海運賃近況	一〇
△三驛發著主要貨物情勢(七月)	一一
△埠頭營業倉庫業況(六月)	一二

商況

□棉糸布	□砂糖	□燐寸	□白米	□花生實	□花生
油	□鹽	□石炭	□牛皮	□鷄卵	□桐材

內外經濟要報

△支那棉の改良	一五
△英米の對支活動	一八
△日本紡績の對支發展	一九
△樂觀し難き棉業界	二一
△燐寸對支輸出悲觀	二二
△對支貿易の難關	二三
△北支那產落花生油	二四
△支那貿易港の人口	二六
△在支外國商社及人口數	二七

協會錄事

△定例總會(八月)	二八
-----------	----

寄贈書類

△大正十年六月中到著分	二九
-------------	----

青島實業協會月報 第四拾參號

貿易

本年上半期青島貿易概況

前年世界經濟界動亂の影響は有らゆる方面に波及して一大恐慌を惹起し續て襲來せる商工界の不況は百般の事業をして悉く消極方針を採らしむるに至りたるが此の暗氣流は案外久敷斯界に沈滞して事業緊縮生産制限を餘儀なからしめたるは既に須知の事實にして其恢復期の日も速やかならん事を翹望しつつありと雖も未だ容易に其曙光を認むる能はずして本期間を経過せり故に前年下半年より本年上半期に亘る一年有餘の一般經濟界は此暗礁に擱座して不況を繼續し從て當港貿易も亦甚だ活氣無き狀態を辿りたるは爭ふ可からず當港は最近輸入港としてよりは寧ろ輸出港として重きを爲し殊に落花生、同油、鹽、石炭、葉煙草、牛肉、棉花、桐材、鷄卵等の豊富なる物資を控へて何れの方面に向つてか之が消化市場を需めんとして汲々たるものあり幸に牛肉、桐材、雞卵は本邦市場の旺盛なる需要を呼び年々輸出數量の激増を示し棉花は當港紡績工業の發展を促進し葉煙草亦上海、大連、朝鮮、廣東に輸出せられ石炭は本邦並上海を重要消化市場として益前途を囑望せられつゝあるも鹽は本年日本政府納鹽の半減によりて生産過剩に陥り香港、朝鮮の市況亦大なる期待を容さず浦鹽、勘察加方面の漁業鹽も例年の需要を喚起する能はずして前年同期に比し二萬餘噸の減退を示せり而して當港輸出の大宗たる落花生實並に同油は前年より引續き仕

向先たる歐米市場の恢復難に隨伴して始終不況の趨勢を辿り需要杜絶の悲境に呻吟せしが廣東市場の新需要に遇ひて僅かに愁眉を開きたるも歐米に比すれば市場甚だ狹少なるを以て左表の減退を現はすに至れり更に之を各港別に小言すれば大阪は桐材、鷄卵の盛況により昨年同期に比し二萬二千七百七十噸を増加せしが神戸は花生實同油の不況により本期間三萬六千七百一噸の輸出を見たるに過ぎずして前年の半數に下れり横濱も亦花生實の不況に減退せるも新たに鷄卵、牛、石炭の輸出により三萬九千餘噸の積出しを見たり徳山の減退は淄川粉炭の積取減少を示せるものにして八幡は製鐵界不況に伴れ鐵礦石積出しの激減を來せるに因る大連は綿絲積出し減により僅かの減退を現はせり天津方面への輸出貨は昨年同期中葉煙草九百餘噸綿絲一千餘噸麥酒四百餘噸を算せしが本年は葉煙草綿絲の輸出無く僅かに麥酒數百噸の輸出を見たるのみ然るに上海は本期中一萬五千四百六十四噸の増加を見著しき進境を示せるは主として石炭、落花生實、葉煙草、等の盛況を見たるに基因し香港廣東の増加は落花生實並に油、鹽等の積出増加を示せるものなり次に輸入貨に就て見るに前年北支未曾有の饑饉は被害程度頗る甚大にして該地方農民の購買力を減退せしめたるのみならず輸入の不況を誘ひしが本年春作良好の聲に漸く不安を脱し先づ綿絲布、砂糖等必需品市況の好化を見るに至りたるも本期間中其れ以上輸入の障害を爲せるものは學生團の排日宣傳に在る事勿論なりとす大正七年以來折に觸れ擡頭せる日貨排斥運動は尙未だ全く終熄する事無く偶々巧に其機會を利用して國貨提唱を高唱し自家商品の販路開拓に努むる華商ありて本邦輸入貨は常に脅威を感じ日貨を取扱へる華商は尠なからざる損害を蒙むる事屬次にし

て止まらず自然邦貨の輸入を沮止すると同時に支那貨並に英米貨をして益々優勢の地歩を獲得せしむるに至れり之を統計の上に徴するに神戸、大阪兩港仕出貨が僅かに好況を示せる外其他の各港並に大連よりの輸入は全く振はざるに引替へ上海香港及其他の支那港より合計九萬九千三百三十三噸の輸移入あり昨年同期に比し實に四萬二百十九噸の増加を算し恰かも二倍に達するの盛況を示せるは一は歐米人の活動進出に因るべしとするも一面這間の消息を語るに足るべし故に本期輸入の減額一萬六千二百四十一噸は畢竟本邦大連並に外國方面輸入の衰退を示せるに過ぎず然るに本年五月之等の學生等が例年排日宣傳に利用する夏期休暇前に於て日華實業協會の事業として前後二回奧地に派遣せられたる饑饉民救濟慰問使は一般支那官民の腦裡に多大の好感を與へ排日緩和に與て力ありたるは爭ふ可からず其れかあらぬか從來省内排日の根據地として最も激烈なる日貨の排斥を行へる濰縣周村、濟南の各市場は同時に綿絲布、砂糖、燐寸、雜貨の大消費市場として當港貿易業者の生命と恃む重要市場たりしが排日以來二ケ年餘の久敷に互り堅く門戸を閉して日貨の抵制を行へるもの五月末頃より漸く好化の曙光漂ひ本期末に於て綿絲布雜貨燐寸等の邦貨に對し買進み來れるは大に注目し値すべし今本期輸出入貨物を前年同期と比較すれば左の如し

青島港輸出入貨物月別比較表 (單位噸)

月別	大正十年上半年期		大正九年上半年期	
	船積	陸揚	船積	陸揚
一月	二〇、七二・	六、三三・	二六、三六九	四、五五七
二月	六、三三七	三、二四八	一〇、九三六	二、三六六
三月	八、八八四・	三、四四八	六、三九〇・	三、七四三
四月	六、三三三	三、〇八五	六、七九六	三、七九九

五月	七、三五九	四、〇四九	七、八二五	三、四三八
六月	五、九八八	三、二四三	八、九八三	三、三六三
計	四七、三〇八	一四、八七七	五〇、〇三九	二二、〇九五

大正十年 埠頭輸出入貨物仕出仕向地別表 (單位噸)

仕出仕向地別	大正九年上半年期		大正拾年上半期	
	船積	陸揚	船積	陸揚
大 阪	一五、八五九	二、〇七九	三、八七六	三、三六七
神 戶	七、五〇三	一四、九六四	三、七〇九	一、六三七七
門 司	一〇、四七六	一四、四三二	一、四八二	八、二六一
横 濱	三、三〇八	一〇、四九七	三、九六八	一、四八
德 島	六、九四〇	三、五二〇	二、六七五	四、四三八
若 松	九、九四〇	九、四四三	五、七〇〇	一、〇三八
八 幡	一、四七八	一、三五〇	六、三二〇	二、二七
其 他 日 本	六、七九六	二、六三六	四、〇七四	一、〇八八
仁 川	四、五二一	二、六三六	三、三九四	三、二六六
釜 山	七、四七〇	一、八四六	一、八四六	一、八四六
其 他 朝 鮮	二、三二二	一、六五九	二、四〇〇	九、九三一
基 隆	三、九七二	一、六五九	一、六四二	三、三三七
打 狗	五、〇〇	九、六五七	七、五	一、六六〇
其 他 臺 灣	一、四〇九	一、四八二	二、五九一	九、三九二
大 連	五、八〇九	四、六二六	七、五二四	六、八六二
上 海	一、四〇〇	二、四九六	四、〇六一	一、三三四
芝 罘	二、四八九	三、九一五	七、五二	五、八四四
天 津	一、六〇八	三、〇九三	四、〇九四	三、三九二
其 他 支 那	三、五八八	九、一八四	四、〇六五	一、四七四
香 港	一、〇四二	一、四九三	一、五九一	一、七九六
浦 鹽	一、〇五〇	一、六五	一、三三〇	一、六四九
マニラ	三、八八三	三、七〇九	一、〇五八	一、六四九
其 他 外 國	三、八八三	三、七〇九	一、〇五八	一、六四九

計 五十四〇二八九 三二〇六九五 四七三三〇六 一九四八七七

埠頭輸出入貨物重要品數量比較表 (單位噸)

△輸出品

品名	大正八年 上半期	大正九年 上半期	大正拾年 上半期	前年との比較
花生	三〇一五	一三九六五	一三九〇五	△
生牛	三〇〇三九	六二〇一七	五九〇七六一	△
花實	五九六七七	六三三三二	七九三三五	△
牛卵	一〇〇四七	二二六三二	三二〇四八九	△
雞肉	二〇七八三	二五九四二	二二七六五	△
麥酒	九六八四七〇	一〇九九七四一	八九三六八七	△
鹽草	三三〇一	三三〇三三	八二〇八	△
葉煙	一三〇〇〇	一八三三二	一〇一一七	△
獸骨	一六六三五	一七七八七	二五四四四	△
骨粉	一三八六	一四八三二	一〇〇一四	△
牛皮	四三六九〇	三三三五六六	二二〇三五三	△
花生油	四六六四四	四六三三〇	三三一	△
豆油	一九〇三	一五四一四	二六〇三	△
牛油	二四一八八	一六二七五	二二七九	△
棉花	三八七四七	九二四八九	六九元三四	△
淄川炭	三三三〇七	一一二〇〇	三七四七二	△
博山炭	一三三三三	二二八〇一	九七六四一	△
コークス	三九五四三	六二〇七四	一一六四五五	△
桐材			五四三六一	△

青島港輸入重要品仕出地別表

(大正十年上半期分)

品名	單位	日本	英國	米國	香港	其他外國	上海	大連	其他 支那港	計
生金	疋	三六七八					四五九六〇	一九五三		八〇五八〇
シーチング(米品)	同						七七四〇			七七四〇
同(英品)	同						二二四〇			二二四〇
同(日本品)	同	八八九七					五五〇〇	五四六七		一〇〇六四

△輸入品

麥稈	二、三八	一六二一〇	二九〇一	一、三九一
豆	二、六二四	二七二一〇	二、五六七	一〇、三三三
鐵礦	七七八〇	一〇八、三六一	四、八〇三	六四、三〇九
米	五七七〇	一、三六六七	四、三九一	二九〇三四
高粱	一八〇	四〇八七九	一、八九七	二八九七八
麥粉	三、二〇五	四六二八四	六三三	四五六三二
同砂	三、五三六	四一九六一	四八〇四七	六〇八六
赤砂	四四二六九	一八三七八	四三三三七	二五〇二九
卷煙	七、四〇九	六、三三九	五三七七〇	八四八九
石油	一四〇、四三	三三九五九	一、三八二五二	九、一三五七
藥品	二九三七七	二八三九九	三、一三八	二九三九
燐寸	七、〇三八	二八三三四	一、八九八二	九三七二
綿絲	一六、六九九	八〇〇二〇	一〇、六九九	二六〇七九
綿布	六、〇九六	四、二六八	五、六六六	一、三九六八
麻袋	一、五〇七	一、九五四五	二、四〇〇	四四三五
洋雜貨	二、五九九	二、〇八九八	五、〇三七	二九九二九
支那紙	八、五八二	七、八七八	一〇、〇三七	二、二四九
日本炭	三、四八五〇	一〇、三九一〇	四、六四〇	五、七五〇〇
セメント	三、五八三	六、三三四一	四、〇三六	二、三〇二五
鐵材	七、三二五	七、六〇六三	九、九七四六	二、三六八三
木材	二八、八五五	四、四八三八	三、三三六〇	三、三二六八
構寸材料	六、三二二	四、〇九四四	六、五〇九	二、四六五

[illegible]

[illegible]

青島港輸出重要品仕向地別表

(大正十年上半期)

品名	單位	日本	露國	英國	香港	其他外國	大連	上海	其他支那港	計
生牛頭	擔	一、五〇〇				五、八	三、九三			二、四八一
豆粕	擔	三、七〇六五							四、七三六	四、一八〇三
麥酒瓶	打	九、九二六	三、一九七			二〇、八〇一	三、八一	二、五五	二、五六八	一、六八一
麥酒裝	打	二、〇〇〇					五、六五四			八、四三三
牛骨	擔	六、一九六					九			六、一九六
セメント	同							一、八八〇	八〇四	一、九六三
山東炭	噸	六、九三七二	一、二〇〇	一	二、七五五	一、四四六	七、六六	六、二〇八	一、七七七	一、六二九
コークス	同	一〇、六五四			二〇		五、三	二、九〇	六〇	一、六三七
棉花	擔	三、六二四					六〇		二八	三、八二二
鷄卵	千個	二〇〇、九五六	七〇八			三	二			二〇、一六八
落花生	擔	一、八、二六五	八	四〇〇	一、八〇	五、〇七九	二、七七	八、四一九		三、四八三
落花生	同	二〇、七四六	七九		三、九二〇	三、一一四三	六、六三	一、五一一五七	三三、七四	八、九六一九四
藥	同	八〇、六九〇四			一、九		七八	一四	一八	八〇、六九〇四
落花生油	同	一、四四								一、四四
鹽	同	六、五八		四、五五	四、六三三	一、七〇三	六、八八	六、五三一	二、五八七四	一、九二五〇五
生絲	同	一、八、八五九	一、五、九三		四、四〇、九三	四、〇〇				一、六四三、二六四
白座	同							一、六六		一、六六
白座	同	五〇					〇	四四		一〇四
黃座	同	二、七					六、三	二、七〇		六、七一
黃座	同	二〇					二、四	二、七〇		六、七一
山東絹	同	二、一八〇			一、二二		一、五	三、三		一、三五
生牛	同	六、八四二					九	四、九二	三、〇	二、一八四三
麥稈	同	六、八四二			七	六、四九	二、四	六、〇八	七	八、二二
同	同	四、〇五五					五、九	五、九	六	四、〇四六
桐材	同	二、八五七三					七、五			二、九一七二
同	同	一、九六七〇					八、九	四、三三		一、五〇、三七五
葉	同	一、九八五						四、三三	四、三九二	五、一四七九

次に當地の工業界を瞥見すれば創痕更に甚だしきものあり本期落花生油の輸出不振に伴隨して邦人精製油房の全部が休業しつゝあるは餘儀なしとするも榨油業者も亦生産を制限せられ或は全く休業し玆數年來未だ嘗て經驗せられたる事無き苦境に堪へ來りたるが本期末に於ける歐洲市場の大口需要は一般製油業者を刺戟し斯界は俄かに活氣を呈し漸く此の苦境より脱出せんとするの機會に遭遇し得たりと雖ども既に前年生米出廻り時期に於ける市況が悲觀材料に滿ちたる爲何れも榨油原料買付の期を失し原料薄に涉々しき進展を見る能はずして本期を経過せり紡績業は前年來綿糸布市況の不味に伴れ面白からざる狀況を辿り一時は當地の内外綿工場も其製品を天津、大連方面に移出して辛くも操業短縮の悲境を脱する事を得しが四月に入りてより日本内地並に支那一帶の好況を迎へて活氣付ける處へ本年春作の良好による饑民窮狀の恢復と日貨排斥狀態の緩和とは綿糸市況を暗黒より光明に轉じたる感あり従つて華商間に好評せらるゝ同工場製品が好賣行を見るに至りたるは疑を容れざる所なり

燐寸業、前年來の不況に久敷休業を繼續せし燐寸界は爲替の不利による日本物の輸入杜絶により市中在荷極度の拂底を告げ三月頃より弗々好況を呈したる爲青島、東魯兩社共競ふて操業を開始せしが滯貨の漸増と兩社の賣競ひは再び市況の伸力を殺きたる一方爲替の持直しと共に再び日本物の輸入を見地製燐寸は前途何等の展開見込立たず不況裏に本期を終れり

製鹽業、本年需要の激減に遇ひて市況萎縮毫も前年の活況を認むる能はず作業短縮收穫激減を豫想せられし上殊に本年年候の不良は春夏鹽の減收を來したるも市況何等の變化を見ず依然沈滞の模様にして益滯貨の漸増を豫想せられつゝあり従つて再製

鹽も亦生産過剩に陥り各工場共生産制限を強ひられ居る有様にして本年中は此窮狀より脱するは困難なるべしと觀測せらる其他、四圍の狀況既に前述の如くなるを以て製糸も亦操業短縮に出て卵粉業は引續き需要杜絶の有様にして休業を繼續し煉瓦は建築界の不況に聲を潜め其他の小規模工業の如きは何れも生産制限を爲さざるものなく或は經營困難に陥り休業又は廢業を爲せる者あり

青島貿易概況 (六月)

本月中の埠頭陸揚貨物(輸入)は三萬一千四百三十三噸船積(輸出)七萬五千六百九十八噸入にして輸入は前月に比し八千九百餘噸の減退を示したるも輸出は幾分の増加を現はせしが昨年同期に比すれば尙七千二百八十三噸の減退にして花生實、花生油、鹽、葉煙草等重要輸出品減退の跡蔽ふべからず(單位噸)

	五月中	六月中	昨年	昨年比較 (△ハ減)
陸揚貨物	四〇、三三九	三、四三〇	三、三六三	△ 九六三
船積貨物	七四、三五九	五、六八八	八、九六三	△ 七、八三五
計	一一四、六九八	九、〇一八	一二、三二六	△ 八、三三八

更に其仕出仕向地に就て見るに大阪仕向貨は相變らず鶏卵、桐材の活況により六千四十五噸を神戸も亦鶏卵、花生實の仕向により四千三百二噸の仕向を見たるか横濱は鹽千噸花生實三百五十一噸コークス二百噸により漸く合計二千五百餘噸の輸出を示せるに過ぎず本月中の日本輸出貨としては鶏卵六千六百九噸鹽一萬百六十一噸淄川博山兩炭を併せて一萬二百十六噸桐材二千五百十五噸豆粕一千百三十一噸位のものに過ぎずして其他一體夏枯期に入れり然るに上海は果然剝實五千七百八十六噸葉煙草三

千三百四十噸の輸出により益活氣を呈し外に石炭五千七百餘噸を加へて本月中一万五千八百六十噸の輸出を見廣東亦剝實二千九百六十九噸花生油二千八百噸合計五千七十八噸の積出しを見たり其他香港輸出貨の主なるものは鹽四千八百五十二噸花生油八百八十四噸に過ぎざるも青島港に對する香港市場の消化力は益々侮るべからざるものあるを示せり

輸入貨としては日本より綿糸六百九噸綿布二百八噸棉花三百九噸洋雜貨三百七十七噸機械六百四噸燐寸三百二十二噸同材料千三百四十九噸を算せしが其他は寥々たるものなるも上海仕出貨としては綿糸六百九十二噸綿布六百四十九噸棉花八百二十四噸卷煙草四百八十七噸石油六百五十噸支那紙千三百四十九噸を算する外茶、染塗料、洋雜貨、竹材、蕈類、箱材等相等數量に達し合計七千五百十噸の輸入貨を示せり大連も亦染塗料、木材、箱材、セメント等を數ふるも比較的振はず香港は砂糖九百六十六噸麻袋五百三十二噸により計千八百六十八噸を算し海州よりは礫石二千四百六十噸の移入を見たり(單位噸)

大正十年六月

大正九年六月

仕出仕向地		船 積 陸 揚		船 積 陸 揚	
大 阪	六〇四七	二五八五	二二九四	一五九〇三	
神 戶	四三〇二	二八七三	八七三三	一四九三三	
門 司	一七六五	九〇五	二〇四二	一五九四	
橫 濱	二五三八	〇六	一〇四四	二四四三	
德 山	六五〇〇	七二〇	六四七〇	八七四〇	
若 松	一〇〇〇	九三	二一〇〇	五二四〇	
八 幡	一四九七	一八八	一六七五	六七〇二	
其他日本	三九四五	五四〇三	四九〇〇	九三六	
仁 川	一六五五〇	一	一四九〇〇	一	
釜 山					

其他朝鮮	一六八〇	五三六〇	一〇三	八八八
基 隆	二二〇	一		
打 狗	二二五	七四九三	〇一	
大 連	二九〇五	二五二四五	四九二五	九八六
上 海	一五八〇六	七五二〇九	九五三四九	五八四二
芝 罘	一、三三三	一	一五五	
天 津	四〇六三	一	九四六	七四三
其他支那	五八〇八六	七四六五	二、〇三二	九六九
香 港	五八七三	一八八八九	六四二〇	六六二
浦 鹽	一	一五八九	二八九	〇五
マニラ	四五四	一	一三九	一
其他外國	二、三〇六	一、三六八	六九八二	九〇二二
計	七五、六八八	三、四三〇	三、三六三	

主要輸出入貨物情勢 (六月)

本月の輸出入貨物は農繁期の爲一體に活氣なき状態を示したるも端午節明の市況は稍好化し綿糸布の如きも尠なからざる輸入を示せしが燐寸及煙草は梅雨期に入りたるため減退し木材亦當分市況の好化は望み難き趨勢に在るも石油、米、砂糖、麻袋は何れも相當の數量を示せり輸出貨物中減退せるは生牛、山東炭花生油、鹽の數品に過ぎず其他は大概好況を示せる中にも花生仁は歐洲市場の買氣旺盛にして本月中十九萬六千餘擔を積出し鶏卵は内地需要の盛況に伴ひ三千五百萬餘個桐材亦七萬五千餘兩の輸出を算し其他豆粕、牛肉、獸骨、牛皮等何れも相當の活況を現はし葉煙草は英米、南洋兩社の上海送荷ありたる爲め二萬二千餘擔を移出し原鹽は政府納鹽及朝鮮香港向輸出鹽により四十四萬四千九百餘擔を示せしが昨年同期に比すれば幾分の減退を現はせり

△輸入品		單位	五月中	六月中	去年 六月中	去年 年比
生金	市	正	二、六六九	二、五五五	五、九三七	一九五〇八
生金	市	正	七〇〇	二、六六〇	四八〇	二、一八〇
同	英品	同	一、三六〇	三、五八〇	四〇〇	三、五三〇
同	日本品	同	二、三三〇	一、六六〇	三、二八〇	一、三四〇〇
同	日本品	同	一、五五二	二、九二六	四、七四九	七、一七七
晒金	巾	同	八、〇三二	一〇、七三三	五〇〇	九、七三三
天竺布	三十二吋	同	二、二四〇	五、四四〇	一、七五〇	三、〇八〇
同	日本品	同	三、四四六	八、一五三	一、五三八	六、六三五
緋金巾	綿天竺布	同	四、四〇一	五、五八六	一、〇九七	四、四〇一
綿絲	印度品	擔	一、一五二	二、七六	一、〇二一	一、六三六
同	日本品	同	三、九二七	七、〇〇一	二、四三三	四、八七八
麻	袋	同	三、二四五	一、一六四	二、三五五	八、八一
紙卷	煙草	千本	六、六六六	一、六六六	一、六七五	一、五〇九
同	日本品	同	六、五五	一〇〇	一、八四〇	一、七四〇
電氣	材料	兩	二、三四元	一、五、四六〇	一九〇三	三、五八三
燐寸	黃燐	哥	一〇、三九〇	八、四五一	一、七五〇	六、六五一
疊及	莫薩	枚	二、五〇七	一、五、六二	二、三四六	六、八五四
石油	米品	裸ガロン	二、五、四〇五	四、〇二五	—	四、〇二五
同	スモトラ	裸	—	—	—	—
米	糖	擔	五、五〇四	四、五〇八	六、四八	三、八六〇
砂	赤	同	七、〇三九	一、五〇一	二、一七九	二、三八三
同	白	同	三	六、三三七	七〇	六、二六七
同	精製	同	三、九一六	一、四四八	五、六三八	八、八四七
木材	堅	立方呎	三、五、四元	—	四、三〇七	四、三〇七
木材	軟	同	三、〇〇七	六、〇三九	五、五七二	四、七二〇
△輸入支那品						
シーチング	正		二、八六四	一、七、九八〇	六、三〇二	二、六七八
綿絲	支那品	擔	八、五八八	六、四四九	七、四七六	一、二七
米	同	同	一、五八	—	一、五三二	一、四三三

△輸出品		單位	五月中	六月中	去年 六月中	去年 年比
小麥	粉	同	二、五五一	—	—	一、三四〇
紙卷	煙草	同	三、六〇九	一、五五〇	—	六、四六
棉	花	同	五、一四九	九、三六五	—	九、三六五
上	等紙	同	四、六一	五、一七	—	一、五七
次	等紙	同	五、七三六	五、八二	—	三、九一
砂	赤	同	三三	三三	—	—
同	白	同	—	—	—	—
生絲	精製品	斤	一、四七六	一、〇八八	—	三、六

生	牛	頭	四〇五	一、二二六	一、四七五	二、五九
豆	粕	擔	一、八元三	一、八六七	—	一、八六六
牛	肉	クォーター	二、九六三	二、六七五	—	五、一三八
麥	酒	打	二、六二八	二、八八四	—	二、七六
獸	骨	擔	九、六七〇	九、三九	—	一九七
山	炭	噸	一、六四九	二、六三三	—	三、五七九
雞	卵	千個	六、〇九	三、五九	—	四、八四九
花	生	仁	一、四八〇	一、六三六	—	三、八五七〇
花	生	油	二、五三七	三、九四六	—	二、九〇三
牛	皮	同	二、七六五	一、三八四	—	—
桐材	下駄	海關兩	一、四六二	四、三九六	—	一、四一九
同	丸	同	三、七五五	三、九九	—	—
葉	煙	草	一、〇八三	二、〇三	—	九、五六三
原	鹽	同	二、八二二	四、四九五	—	五、九二、九四
牛	油	同	二、七六五	二、八六	—	一、六八四

民船貿易 (六月)

本月の民船貿易は前月盛況の後を享けて一體に活氣無く幾分夏枯氣分を現はせしも尙前年同期にす比れば頗る優勢にして殊に落花生仁の如きは歐洲方面の大口注文を入れて市況益々緊張し五萬三千餘擔の移入を呼び豆粕は引續き葉煙草施肥の關係上需

要衰ろへず高粱、玉蜀黍、小麥等も亦相當の數量を示せしが鶏卵は氣候の關係上日本輸出不味に従ひ二百六十七萬餘個に減退其他麥粉三千二百六十三擔蒜頭二千六百餘擔鹽乾魚八千九十二擔竹程五千餘本蓆類四千七百餘枚原鹽一萬五千餘擔の移入ありたるも其他は何れも不振の状態を示せり移出貨にありては石炭千四十八噸石灰九百四十噸花生油七千三百七十九噸其他鍋五百四十擔豆油三百六十九擔を除けば他は微々たるものにして殆んど云ふに足らず

△移入品

品名	單位	六月中	昨年六月中	品名	單位	六月中	昨年六月中
竹	本	五、二七六	九、三六六	鹽乾魚	擔	八、〇九二	七、六〇〇
豆	粕	三、〇〇七	一、四八八	麥粉	同	三、六三三	二、二二五
白黃豆	同	九、九七七	一、〇七	花生仁	同	四、九五一	二、七〇九
牛骨	同	九八	先	生牛皮	同	五七	一三三
高粱	同	二、〇七四	一、三三七	各種蓆	枚	三、五五〇	一、八八〇
玉蜀黍	同	三、〇九二	二、六〇八	花生油	擔	八、七三二	一六、四九
小麥	同	一、三〇六	一、九六五	次等紙	同	八二	六六
鮮蛋	個	三、七四四	一〇、八〇〇	三等紙	同	五、六六	五、〇〇〇
蒜頭	擔	二、二五	二、八四	款	同	一、九七	一、四元
△移出品							
石炭	噸	一、〇四八	五七	藥材	擔	八三	一三
豆油	同	三、九	六、九七	鍋	擔	五、四〇	三〇二
花生油	同	七、五九	一、五五	石灰	同	九四〇	一、六〇〇
陶器	同	二五	一三				
△港内運輸							
石炭	噸	九七	九〇	各種蓆	枚	一、六〇〇	一、〇〇〇
鮮蛋	個	二、〇〇〇	九、〇〇〇	花生油	擔	五、七三	六、一三
落花生	同	九、〇三	一	食鹽	同	一、五〇六	一、四、五五
花生仁	同	一〇、三三	四、二五	蘿蔔	同	一、七三	四八

鮮菜同 翌日 二〇七

海運及鐵道

青島港出入船舶 (六月)

本月中の入航船舶(汽船)は九十九隻此登簿噸數十萬四千三百八十六噸出港百隻十一萬六千二百五十三噸卸荷三萬一千四百三十三噸積荷七萬五千六百九十八噸入を算せり之を前月に比すれば出港船舶は一隻七千二百七十九噸を減せるが入港は隻數に於て四隻の増加を現はし噸數は却て減退を示せり更に之を昨年同期と比較するに出入港共二三隻の減少を見たるも噸數は一萬六七千噸宛の増加を現はし比較的大型船の就航を見たり

出港汽船 入港汽船

月	中	隻	噸數	登簿噸數	隻	噸數	登簿噸數
五月	中	一〇一	一一四、五三二	九五	一〇九、一八〇		
六月	中	一〇〇	一〇六、二五三	九九	一〇四、三八六		
昨年六月	中	一〇一	八八、九七五	一〇二	八八、〇八二		
昨年本年比較	△	一〇	一七、二七八	△	三〇	一六、三〇四	
次に入港船舶の仕出地を示せば日本二十二隻仁川二隻其他朝鮮二隻大連十二隻上海三十六隻天津三隻海州七隻其他十隻香港三隻マニラ一隻其他外國一隻にして出港仕向地は日本三十一隻仁川一隻釜山三隻大連十四隻上海二十三隻芝罘一隻天津五隻海州五隻其他九隻香港五隻マニラ一隻其他外國一隻なりとす							

内地近海運賃近況

各方面とも徐々成約船を出し大型船は略出拂の姿となりたるも未だ繋留船を解放するだけの刺戟無く又夏枯の近海航路を潤す

程の能力なく大勢依然として保合姿を示せり最近運賃成約を示せば

大壽丸 石炭	一、七〇〇噸	唐——濱	二、〇〇	
七平榮丸 同	一、八〇〇同	同——同	一、九五	三 菱
三千丸 同	九〇〇同	若——同	一、八五	同
佐川丸 同	一、四五〇同	唐——芝	二、五〇	唐 炭
東瀛丸 同	三、〇〇〇同	若——漢陽	二、九〇	內 田
三大信丸 木材	二、〇〇〇石	釧路—內地三港	九千圓	西 谷
七萬榮丸 同	四、〇〇〇石	本斗—酒田	一萬三千五百圓	直
安陽丸 鹽其他	二、八〇〇噸	青島—香港	三、六〇	鈴 木
三池丸 同	三、八〇〇噸	青島—門司濱	九千圓	山 下
海城丸 同	二、二〇〇噸	青島—門阪神	五千圓	直松茂

三驛發着主要貨物情勢 (七月)

本月中の青島三驛發着貨物は發送一萬三千八百八十六噸三到著二萬四千噸五を算し前月に比すれば發送七千三百六十九噸到著二千百九十三噸九の減退を現はし逐月夏枯期の衰勢を顯著ならしむるに至りたるか之を昨年同期に比すれば發送に於て五千百四十六噸八到著八千六百八十四噸一の増加を現はし別表の如く著しく各貨の上に活況を示しつゝあるを見る殊に綿糸布、棉花、大豆、砂糖、雜貨、燐寸等は奥地需要衰へず概して良好の成績を示し高粱、小麥の如き食糧品を降くの外何れも多少の増加を現はさざるは無しと雖も本年春作良好の結果饑饉地方行食糧品の激減を來せるは蓋し當然なりとす翻て到著貨物に就て見るに石炭コークスは内地炭況恢復に伴れ上海市況は益々山東炭に對し有利に推移し尠なからざる輸出を呼ひたると同時にコークスも亦内地方面の需要を増加せるものにして時節柄生牛鶏卵の輸出不味に基く減少を見たる外は毫も衰微を現はさず殊に桐

材は内地市場の硬化を傳へて本月中千四百九十一噸の到著を見落花生亦期節外れ輸出不振時期なるにも拘らず取引市場受渡準備として二千四十二噸の到著を示し居れり花生實の衰退と反し擡頭し來れる花生油は歐洲方面よりの大口引合を入れて活氣付き本月中三千三百三十一噸の著荷を算せしが本品のみは例年のレコードを破り夏枯期に於て益々伸展の趨勢を示しつゝあり

△發送貨物

品名	六月中	七月中	昨年七月	本年七月	昨年七月	本年七月
木 材	九〇三〇	八六五五	五七〇〇	三九五五	〇	〇
古 鐵	三三二〇	四三二七	一五五〇	三六四〇	〇	〇
大 豆	一、三五四九	六〇六五	四七五〇	五五九〇	〇	〇
高 粱	一、五〇九三	三三二一	五四三八	三三〇七	〇	〇
支 那 紙	一、七七四	三四九三	七七七〇	二二六	〇	〇
棉 布	八六五	五七五四	五四二〇	五二二	〇	〇
綿 絲	四三三〇	三三八三	一〇七五	三〇八	〇	〇
石 油	一、二五七	一、二三四	五八七五	五五九	〇	〇
油 粕	八三六	七九九	五五四六	一八五三	〇	〇
砂 糖	九三〇	四五一	二五四九	一九五二	〇	〇
煙 草	一、〇〇九	二、四八三	二五六八	二、三八五	〇	〇
魚 類	三三九	二三四	二五〇	八四	〇	〇
雜 貨	一、五七二	四八二四	三四九	一四一五	〇	〇
機 械	九六三	一〇九六九	二八三四	八五五	〇	〇
麻 袋	三二六	二七九三	七七六	二〇一七	〇	〇
機 械	二九一	三七四	一四九五	八一九	〇	〇
機 械	一、三八四	三七〇	一	三七〇	〇	〇

△到著貨物

石炭	101,840.0	92,960.0	8,880.0	1,050.0
コークス	2,360.8	1,840.4	1,435.0	1,706.9
石灰	768.0	8,247.0	651.1	1,736.0
桐材	1,288.8	1,491.9	282.1	1,209.8
米	3,102.0	3,077.0	615.0	2,462.0
落花生	4,155.3	11,040.4	5,960.0	1,446.4
麥粉	76.0	4,336.0	1,032.0	2,524.0
落花生油	1,971.6	3,330.4	5,555.0	2,795.9
鷄卵	1,427.5	678.8	3,008.0	378.0
葉煙草	1,132.0	1,330.0	2,065.0	735.0
容器類	1,460.0	858.3	1.0	858.3
生牛	3,656.0	2,463.0	2,564.0	321.0

埠頭營業倉庫業況

(六月)

本月中埠頭倉庫寄託貨物の主なるものは花生實二百噸九葉煙草六百七噸六油粕百一噸八燐寸四十六噸二屋根紙三十七噸八等にして其他石炭、瓦、土器、機械、食料品を併せて合計千二百四十噸一此價格十五萬九百三十二銀元を示したるが出庫は花生實三百二十一噸綿布二十三噸七燐寸四十六噸二屋根紙三十七噸八其他を併せて合計六百六十四噸四價格九萬六千九百十四銀元を算し月末在庫千九百八十一噸七價格三十萬六千八百二十三銀元を示せり今其各品目別異動を掲ぐれば左の如し

品名	繰越	受寄	出庫	月末在庫
花生實	2,463.0	2,329.0	3,330.0	1,907.0
葉煙草	2,652.0	3,766.0	1.0	8,938.0
牛皮	2,008.0	1.0	1.0	2,008.0
機械油	2,140.0	1.0	1.0	2,140.0
染塗料	400.0	1.0	1.0	400.0

綿布	350.0	1.0	237.0	1.33
麻袋	266.0	335.0	267.0	234.0
煉瓦及瓦	1,234.0	1,334.0	1,334.0	1,334.0
土器	1.0	327.0	303.0	1.0
鐵	176.0	1.0	1.0	176.0
金屬製品	4,336.0	1.0	93.0	3,402.0
機械類	336.0	60.0	78.0	208.0
油粕	1.0	1,028.0	1.0	1,028.0
燐寸	4,230.0	4,332.0	4,332.0	4,332.0
屋根紙	378.0	378.0	378.0	378.0
食料品	32.0	63.0	1.0	204.0
其他	368.0	1.0	368.0	1.0
計	1,979.0	1,246.0	6,446.0	1,987.0

商

況

(七月)

◎綿糸布

△綿糸 六月以來漸次好化し來れる大阪三品綿糸市場も在荷の減少と株式高等に連れ當月限二百六十九圓の高値を示したる爲め當地市況も之に伴れて擡頭し始め折柄の上海市場投機熱と共に前月末に比し約拾兩高を示したるも當地は稀有の雨天續きにて奥地實需起らず只問屋筋の思惑買を旺ならしめたるに過ぎず相場は案外軟弱の足取りを示し月末大阪三品安を入れて問屋筋引込み高値より約五兩方の引落しを見氣迷閑散裡に閱月せり

銀	上旬	中旬	下旬
月 (十六手)	152兩	155兩	154兩
扇面 (同)	155	159	157
福助 (二十手)	178	185	184

なるが品質の向下は歐洲方面の輸出を不能ならしめ需要は全部油に轉稼されだるのみならず廣東幫の需要も亦兩廣戰爭に禍ひせられて減退し更に同地に於ける油房同盟罷業は益々買氣を殺き殆んど無商内の状態に在るも到著荷割合に多く相場は本月を通じでデリ下げの歩調を辿り月始高値七元七十錢より月末六元八十錢と下押弱保合へり

◎花生油

前月來歐洲市場の好化は當地生油市場を刺戟して氣配一變硬調に轉じ殊に船積前に於ける人氣は未曾有の盛況を極め思惑賣買旺んにして前月廿七日の如き一日千四百五車の商内を見るに至れり然るに今回歐洲方面の買氣が比較的皖りし居れるに注目せる二三大手筋は現油薄に乘じ賣手を玉攻めに爲さんとして中旬極力買進みたれば相場は遽かに一九元二十錢と狂騰せるも華商賣屋筋の七月限荷渡不能となり取引危険と目せられたるを以て取引所は組合と合議の上當分七月定期の立合を中止せり此形勢を眺めたる華商は極力出舍方面を買集め或は廣東行荷物の振替を爲して復讐的に賣叩きたる爲め形勢一變買屋の不利を誘致せしか更に月末邦商筋再び連合買煽りに出でたるを見て華商筋は頃合迄相場を吊上させ却而逆に賣叩きたる爲相場は再び軟弱を示し月末定期十六元三十錢現物十五元と總安波瀾裡に閱月せり前述の如く一時人爲的吊上の爲め歐洲市場と二三元の逆鞘を示せる油も月末に至り高値より三元の開きを見せ漸く歐洲市場を出合姿に推移せしか一般東洋方面の荷動き増加の爲船腹に不足を生じ歐洲同盟汽船の如きも二回迄運賃値上を斷行するの勢にして自由に船腹を得られざりしかは產地値下歐洲皖りの好機會

を眺めつゝ比較的商内出來ざりし模様なり

◎鹽

本年の鹽業界は春作不良の爲出廻り減少せるも邦人鹽田の發達著しく納入鹽も一段落を告げ朝鮮方面割合に買氣薄なりしかは相場伸悩み月始白鹽四元並鹽三元六七十錢を保合ひしか本月に入りてより天候甚た良好ならず鹽田業者は殆んど休業狀態を繼續しつゝ益收獲激減を豫想せしめたるを以て月末に至り稍擡頭し白鹽四元十錢並鹽三元八十錢と上押益々前途の強調誘ひしも埠頭に於ける舢板商内は亂調子にして船積間際に於て白鹽四元三四十錢の相場を出せし事あり

◎石炭

燃料としての淄川炭況を見るに内地炭況漸く強含みに進展するに伴れ例年夏枯期なるにも拘らず積取益々旺盛を見るに至れり然るに農繁期入坑採炭夫の減少による出炭減と山鐵の夏枯不需要期を見越したる配炭策の變更による輸出仕向著炭の減少とは先月末の富豐なる貯炭を消化し漸く炭練難を訴へ荷物積出しは殊に困難を感ずるに至りたるが此間三井はブリュール、フアンネル、ライナー、「リカオン」號に對し試驗的に淄川塊炭二千百噸の供給を爲せり更に輸出方面を見るに内地炭況の引締りは直ちに上海市場に影響せるものゝ如く日華協信の上海積出しは從來甚だしき進展を見ざりしも今月に入りてより特に大連丸を就航せしめ専ら淄川粉炭の積出しに當らしめたる外支那商勤益公司か淄川粉炭の大口約定を山鐵に對し申込たるは石炭界の注意を牽きたる模様なり内地仕向淄川粉は仕向先たる八幡製鐵所か製鐵界市況により操業短縮の爲め積取寥寥々徳山煉炭所亦漸く月

割高の積取を爲せるに過ぎず博山炭は日本炭況前述の如くなるを以て自然同炭況に好刺戟を齎らすべき筈なるも未だ實際的商内に於て思はしき進展を見ず閑散裡に閱月せり輸入日本炭は内地炭況の強氣により炭價の暴騰は比較的賣物を多からしめたる結果著しく貯炭の減少を見殆んど賣物無き状態となり先月末に比し二三圓見當の高値を呼び其に伴隨して當地に於ても塊炭一圓高を示せしが夏枯不需要期を迎へて輸入不振の状態を示せり

◎牛 皮

既に梅雨期を経過して仕入時期に入りたる爲め弗々引合始まりたる模様あり華商唱へ相場も駈りと淨皮は月始めに比し約一兩見當の上押を示せり月末相場左の如し

改良淨皮	大	二三兩三	土法皮	大	二〇兩四
同	中	二八、五	同	中	二五、五
同	小	三三、五	同	小	三〇、五

◎鶏 卵

梅雨明け後阪神多少荷動きを見せ市況漸次デリ高氣配を現はし來りたるも氣候の關係上内地著後尠なからざる腐敗品を出せる爲め問屋筋一齊買控へ當地市況も諸城、即墨物の小幅上伸を別として概して軟弱月始に比し各種を通じて一圓半見當の下這を見せしが暑氣の加はるに伴れ益々積出し激減し之迄品薄を理由に高値唱へなりし華商も遂に持ち切れずして相場はデリ安步調を辿り更に一元見當の崩落を見しが下旬に入りてより阪神問屋筋が腐敗を怖れて冷蔵物の投賣を始めたるを見て當地輸出業者は一般に警戒買控に出で商内殆んど出來ず市中在荷の漸増と共に相場逐日激落月末萊陽物十一元昌樂物十一元五十錢高密

九元五十錢諸城青州物九元と月始に比し四元見當の暴落を見た

◎桐 材

阪地問屋筋入込み華商より直接買出しに従事せる爲め當地輸出商と入亂れて競買の姿となり自然相場を吊上げしが大阪市況引立たず比較的軟弱氣配なりし爲稍尻込み相場も落付風情を示せしも月末に近く内地市場の品薄に伴れ相場はデリ高の好調を現はし一割見當の上押を見たるが當地は内地の買聲に先走りを見せて二割方上放れ月末込み庫渡三十五錢の高値を保合へり月末内地相場左の如し

△下	天	△甲	天	月
駄	飛	良	飛	月
臺				
一、〇〇	、五七		、六〇	、三一
雪	花		雪	花
、七〇	、四〇		、五二	、二二

内外經濟要項

支那棉の改良

支那棉の種類 棉花の栽培に無限の豊庫を抱く支那大陸に於ける棉花は僅に年産二百萬俵に止まつて居る。然し其の棉花栽培は京兆、直隸、奉天、山東、河南、山西、江蘇、安徽、江西、福建、浙江、湖北、湖南、陝西、甘肅、新疆、四川、廣東、廣西、雲南、貴州、熱河の各省に及び全土中吉林、黑龍江省及

察哈爾特別區域の三地方に之を見ない位のものである。従つて其の棉種も多く天津に出廻るものに西河棉、御河棉、小集棉、山西棉、陝西棉、漢口に出廻るものに老河口棉、棗陽棉、隕州棉、河南棉、孝感棉、沙市棉、變城棉、家鄉棉、雲夢棉、湖南棉、裡河棉、陝西棉、上海に出廻るもの、通州棉、大倉棉、南北市棉、常熟棉、嘉定棉、寧波棉とあるが栽培方法の不良の爲め品質劣等にして棉産地域の増大に棉産比例せず加之紡績用としては通州棉、大倉棉、陝西棉に過ぎない。而も其の用途は太番に或は太番の混棉に限られて居る。此の現象は即ち識者の支那棉花改良を喚起し専ら唱道せらるゝ次第である。支那棉花の改良の前には生産、運搬、取引輸出等根本の問題が横たはつて居る然し其の根本は生産の改良に基くものであらう。其の改良は生産増加と品質の向上を圖るに歸着する。前者の爲めには現今の栽培法其の他生産技術の改良に依り單位面積よりの收穫高を高め全般の産額を増進せしむると共に栽培面積の擴張を計らねばならない、次に優良品種の採用は肥料の使用と駢馳す可き農業上の重要な事項に屬するもので殊に棉花に於ては同一圃場に同一種子を繼續して栽培すると漸次退化の傾向を現はし收穫量を減ずるのみならず品質をも亦劣等に導くものとされて居る。北米合衆國及び俟及等が常に優良種子の選別普及に腐心して居るのも實に此の傾向を恐れるからである。然し此處に考ふ可きは唯徒に棉花の増殖のみを圖つても品質が是に伴はない場合には消費の方面に於て其の需要數量が限定され價格の下落を來して増殖の目的が達せられない事である。夫れ故此の改良事業も或る期間の犠牲を前提とす可きは言ふ迄もない。

支那棉と日本 而して此の支那棉花の改良と増殖は懸ては世

界棉花の需給を圓滑にし延いては本邦紡績の原棉問題をも解決し得るものである。然し夫れも吾國が此の事業に關係するに否に依つて前途の成否に自ら分岐を生ずるであらう。萬難を排して之に手を染め成功を納めんか本邦紡績の自給は文字通りに行はれ、世界に於ける綿業界の覇者として勇飛するの不可能ではない。然し過去の歴史には何等此の項目が擧げてない。嘗て大日本紡績聯合會が棉花自給の急を知り通州に棉花試作を行つたが栽培方法の不良と米棉種の直に支那綿化するの一事に於て經營は失敗に終つた。而して其の後は徒に沈黙を守つて居る爾來紡績業は其の創業當初政府の援助を受けたが直に之より離れ獨立して今日の地位を得て居る。此の産業の獨立主義も現狀から考へると棉花を輸入して之に加工し其の生産原價と市價との巨大なる値開き即ち暴利を占むる事を意味し政府の援助を借りずして國家の爲めに働く産業とはなつて居ない。單に需要者に過重なる負擔を與へるのに役立つて居るのみである。勿論操業短縮の効果が紡績に莫大な利益を與ふるのであるが此の變態現象もやがては常態に復し次いで世界的斯業の競争を迎へるのである。其の時期こそ紡績と棉花栽培と畑を異にして居るものとのみ傍觀するを許さなくなる。支那棉花の改良増産に依り之に専ら原料を仰ぐ事は相場の変動も比較的薄く且つ不時の際に於ても原料難に脅かされる事はない。加ふるに一般需要者に對して低廉の價格で其の製品を供給し得る事も亦出來るのである。然し此の改良事業には莫大な勞力と資本を必要とし棉製品が戰時禁製品丈けに政府に其の力を待たねばならぬ。由來政府當局は生絲のみが貿易の大宗と思つて居る。其の原料たる蠶が自國に産し且つ農家の手に依つて作られるが爲め農業保護の國是に

立脚して居るからであらうが紡績業即ち綿絲綿製品の貿易上の地位は決して生絲に劣つて居ない。世界的に必需品である結果は本邦紡績今後の消長如何に依つて或は又貿易表に於て生絲を抜く事ともならう。支那の農業を援助し之が發達が直に本邦紡績に至大の利便を與ふるものたる以上何等其處に躊躇を必要としないのである。然るに政府當局は何等之に對し考慮もして居ない又紡績業者も支那棉花改良の急務にして且本邦棉花自給の名案たるを知りつゝあるも徒に政府の企畫を空だのみにしてゐる。産業の獨立を誇る紡績としては更に政府に肉迫する元氣が必要である。

英國の棉花策 棉花自給に専ら苦慮して居る英國は事業の進捗遅々たるに焦慮してゐる。去る六月上旬植民大臣チャーナル氏はマンチエスタ―英國棉花栽培協會に於て演説を試み英帝國は着々進歩しつゝあるも而も各紡績工場をして十分に活動せしむるに必要な棉花の四十分の一を供給し得るに過ぎない。茲に恐る可き事實は米國が米國自身の棉花收穫を消化しつゝある事であると言ひ、英國は宜しく英帝國内よりして棉花を供給せしむる事とせねばならない最近二十年間に亘り熱帶地方の領土を開發する事を怠つたのを遺憾とする。投資をして有利ならしむるためには須らく科學的器械を用ふ可く亦熱帶地方の植民地及び自治領とも帝國内に於ける通商を發達せしめねばならない。英本國政府は帝國内に於ける棉花栽培獎勵のため百萬磅を支出して居ると説き更に六月十四日の着電は商務院總裁ボルドウイン氏は下院に於て同様の意見を述べ棉花自給の緊急を痛論して居ると報じて居る。斯くの如くにして英國は同國の棉製品を保護し世界に勇飛せんとす。獨り棉花の自給を叫んで居るのは英

國のみではない、恐らく一等國に列して居る國々は何れも夫を叫び政府自らが矢面に立つて居る更に最近支那紡績の發展は著しく本邦紡績の壓迫せらるゝに至つた結果、對支紡績として各社は支那に分工場を設立するに勤めて居る。即ち支那紡績は原棉を自國に産し勞働賃銀低く職工の募集も容易く更に製品の運賃節減、關稅諸掛の減免等よりして生産費を著しく低廉ならしめて居る結果、之に對抗する事の苦痛を避けんとして上海には内外棉、上海紡績、日華紡績が既に相當の地盤を有し豊日紡、東洋紡、大日本紡、鐘紡、山本紡、日清、富士紡、東華、天華等の諸會社は着々其の工場計畫進捗に焦慮して居る加ふるに支那人英人の紡績工場經營も簇生し各地の計畫百萬鍾以上に達し近く三十萬鍾の完成を見んとして居る其の實現の上は一ヶ年間の綿絲生産高を三十萬捆得らるゝ事となり最近の本邦綿絲對支輸出と略同様となる、之に依り本邦品二十手以下の輸出は遠からず絶滅するも測り難く本邦紡績の太番經營は益々支那に工場を移さねばならなくなる。此の觀測と現象は紡績經營の今後に利益計上の減少を少からしむる結果を招致するのである。それ故に支那棉花の増殖と改良を計り從來の支那紡績史に見ない中絲以上の紡出を本邦紡績の手に歸せしむるの必要がある。而も之をなすには政府當局に熟考を促し支那棉花の栽培に待つべきものではなく政府當局自らの出馬を望むもので當局の獎勵方法如何に依つて本邦紡績の將來も安定するに至るのであらう。一農業國と一工業國との國民が相互に提携し合ふ時にたどへ兩國の政府當局が戦はんとするも兩國の國民は之に反對を直に宣明するのであらう近き例として歐洲動亂に於ける米國と獨逸は如何兩國の工業戰は直に兩者の戰鬪に國民自らも賛成を表したで

はないか支那の農業に多大の恩恵を與ふる棉花栽培は之に依り工業を發展せしめんとする本邦に有利なるは勿論日支提携は永遠に結ばれて行く最善の策であらう。

英米の對支活動

最近支那に於ける英米の經濟的活躍は目覺しきものあり本年四月五月頃の其筋の調査に依る英米兩國の經濟的發展企畫なるもの左の如し

△米 國

直隸清河口大築港に對する米商の飛躍

同河口に一大築港を計畫し該地方に於ける各種特權の獲得を目的として成立せる中國直隸銀公司資本金三千五百萬元は最近再び活動を始めたが其裏面に在天津米商アンダーソン、メーヤーある事は隠れたる事實にして該商人は昨年末以來親米派の直隸省議會長邊守靖氏一派と結託し該計畫を具體化せんと努めつゝあり

米國織物會社の支那發展

米國は日本の支那に於ける羊毛皮革の利得に對抗するの目的を以て毛織物會社代表ヤルシターを支那に派遣し實地調査の上六百萬弗を投じて廣州に該會社支店を設置する計畫なり

福州馬尾造船廠と米國との借款成立

馬尾造船廠は經費窮乏の爲め國庫債券四十萬元を擔保とし在福州米商慎昌洋行より銀三十萬元を借款し其の經費に充當せり

米商の米貨賣込運動

米國アンダーソン、メーヤーの店員は京漢鐵道局に價格十三萬元の藥品を賣却するに當り破損及不足の分約三萬元を安全なる

品と取換て組合米國人は日本商人等と異り利を得るよりも信用を重んずる旨吹聴し日本品を排斥して米貨を賣込まんと努めつゝあり

江南造船所と米國との借款

支那海軍部にては江南造船所を米國との合辦組織に改め米國側より米貨五百萬弗を得んとしつゝあり米國側當事者はシカゴ銀行なるが如し但し本借款は駐米支那公使より本國政府の訓令に基き目下其の時機に井ずとして當分中止せん事を通告したるも之を以て打切られたるにはあらざるを以て同時擡頭し來るやも知れざるの狀況にあり

財政次長潘復と米商と借款交渉

潘復は米商慎昌洋行アンダーソンメーヤーに二百萬弗の借款を交渉し某所の森林を以て之が抵當となせり其の利息一分二厘手取九十五期限五箇年なり

米人の煙酒公債購入努力

最近支那政府は煙酒公債二千萬元を發行せんとしつゝあり該公債なるも其實大部分は米人に依りて購入せらるゝ筈にて將に成立せんとする模様なり

米國政府の支那に對する五千萬弗の國際的贈與と利權獲得關係米國政府は最近五月十二日を以て大統領ハーチングの名に依り五千萬弗を支那政府に送附し來たり且つ同時に米政府は支那政府に對し其商工業發展を期せんが爲め米支人の各種合辦事業の出願は悉く之を許可し將來の便宜を與へられたしと附言せり是れ明かに國際的贈與なりとの非難あり更に其投資の真相とも觀るべきは靳總理と周葉兩總長との間に財政策に就き意見の不一致を來し總理は該總長更迭を必要とするに至りたるより周葉等は

總理は日本の舊交通系排除運に加擔して其運動を成就せしめ其の交換條件として對日借款償還を延期し一面斬自ら兩總長を兼ね國庫收入を自由にせんとするものなりとの謠言を作り反對宣傳を爲したるが豫て日英に對抗し在支利權の獲得並に其の勢力扶植に苦心し居れる米國は此の謠言に刺戟せられ遂に日本對抗の意思を以て該投資を敢てするに至りたるものと觀測せられつゝあり

△英 國

道清鐵道支線の工事著手

英商福公司是清猛鐵道道清支線築設の件に就き近頃支那政府の許可を得既に起工に著手したり竣工後は收益の百分の十五を支那政府に納入すべしと又該公司總理たる英人某は其本國に於て英國資本家の對支投資を激勵せし爲め該公司今回の増資一千萬元の如きは立所に募集するを得たりと云ふ更に彼は英國公使館參事官及技師長と共に既に開封に至り鐵道鑛山を調査し歸京の上當局者と更に該鐵道を正大鐵道と聯絡せしむる支線の建築問題に就き商議を重ねべしと

財政部と英商との借款成立

財政部は加奈陀實業公司に對し米金百萬元の借款を爲す利息一分二厘手取九十二先取利息十二萬元擔保鹽稅剩餘金

英國の在支航空事業發展策

英國は第二次飛行機借款を契約し飛行機百臺を交通部に賣却すべく内密に運動し交通部は陸海軍部に協調商議中にあり英國の該運動は西藏問題の解決に關し印度を経て西藏に連絡するよりも在支英公使と西藏方面に直接連絡するを必要且つ便利とし此目的を達するには支那經營の航空事業を利用するを安全且つ得

策なりとせるに基因せるものゝ如し

四川省内鑛山探掘權の保留要求

英國は光緒二十四年支那益華公司と契約したる事ある四川省内鑛山探掘權を最近に至り既得權なりと稱して外交部に其の保留承認を一部要求せり

△英米合同

裁兵費調達に英米トラストの運動

天津會議に基く裁兵の費用として煙酒稅を擔保として三千萬元を借款するの案提議せられたるを探聞せる英米トラストは逸早くも煙草製造所の合辦を條件として本借款を引受けんとし財政次長潘復に對し盛に交渉を進め略其の成立を見たりと傳へらる

日本紡績の對支發展

我が綿絲紡績事業が歐洲大戰以降著大の進歩を遂げたるは否み得ざる事實なりと雖も現下に於ける内地需要の大勢より類推すれば對内的發展の餘地漸く狭く向後は對外的發展に據る適策なる如く此の爲めには舊來の太絲及粗製綿布の製出に努めて支那紡績と對抗し販路の擴張及確保に全力を傾倒すると共に技術の進歩改良を計りて品質の向上及び加工製品の種類を増加し需要性を普遍ならしめ廣く世界市場に英米精巧品と角逐するの企圖を樹てざるべからざるが最近我が紡績會社の對支發展熱旺盛を極めると共に細絲及び精製綿布の輸出が逐年累増の傾向にあるは此の所以なり茲に大正二年以降本邦綿絲の輸出狀況を觀れば

(單位捆)

年次

期別

支那向

其他向

二	前	二〇〇、六三九	二五、七三三
二	後	一八八、六五八	四四、二〇七
三	前	二四八、〇三六	五四、三〇六
三	後	二〇七、〇八八	七〇、五六一
四	前	一九七、三〇九	二八二、九三四
四	後	二六六、六一二	四八、〇三一
五	前	二四〇、二七七	五三、六九六
五	後	一九九、八八一	五三、二〇六
六	前	一九四、一九〇	六七、二七一
六	後	一〇二、二八五	四七、〇〇六
七	前	一二六、一九六	八六、〇二八
七	後	一〇五、四九二	一〇三、七九五
八	前	一〇三、二七一	四七、四七三
八	後	五三、九〇〇	二六、九三〇
九	前	五七、六八二	三九、四二〇
九	後	一〇九、〇二七	九八、七五六

にして大正四年後期を最高として對支輸出は爾來漸減の趨勢を辿りるに其他輸出は之に反して逐年増加を示せるに似たり由來我綿製品の輸出は生地綿布及太絲に限定せられ大戰中本邦品の輸出増進したるも這は英米品の輸入杜絶により纔に其下等品の代用需要たりしに止まり而も英米下等品に對し本邦紡績が東洋に優秀なる特質として一錘當生産高の多きと勞銀の低率なるによりする價格低廉を以て抗爭し得たる本邦品も戰時中に於ける支那紡績の著大なる發達によりて之と同級品の生産可能に達し舊來我が最大顧客たる支那の需要減退の趨勢を示現せる如し、現在支那紡績の大勢力は上海を中心として合計二十一社、支那

内地に合計四十二社ありて其の操業狀態を觀れば

		上 海		内 地	
操業紡機		三一三、五五三錘		五四三、九四一錘	
未操紡機		三三三、二二〇錘		五八四、二六〇錘	
操業織機		二、三九〇臺		二、一五〇臺	
未操織機		一、三〇〇臺		一、九〇〇臺	
棉花消費		四五六、〇四二俵		八七九、〇四三俵	
にして總合計六十三會社、百七十七萬四千九百七十四錘、七千七百四十臺に及び一年の棉花消費高百三十三萬五千八十五俵に達し居れるに加へて上海には別に英國資本による紡績事業五會社此紡機二十五萬六千二百八十四錘、織機二千六百五十三臺を算せり					
而して支那に於ける紡績事業は原棉の關係、勞銀の低廉、製品の運賃節減、關稅諸掛の減免によりて生産費をして著しく低廉ならしめ得るが爲め我内地紡績は商策對抗上頗る不利なる條件に限るべきは言ふを俟たざるべく過去十年間の支那綿絲產額及び支那綿絲消費額を觀るに(單位千捆)					
年 度		製產高		消費高	
一九一〇		一、〇五〇		三、三三二	
一九一一		七五〇		二、六一〇	
一九一二		一、二〇五		二、七八八	
一九一三		一、六一〇		三、一八二	
一九一四		一、六二〇		四、一四一	
一九一五		二、五八〇		四、二八五	
一九一六		二、五七六		五、〇四三	
一九一七				四、六五二	

一九一八 二、七〇〇 六、五三二
 一九一九 三、三〇七 五、八四二
 一九二〇 四、一〇二

にして生産上の採算有利なると生産力の増大とは應て本邦品の輸入を阻害するの兆候歴然たるものありて之が對防的措置は支那内地に工場を設置し支那紡績と同一條件の下に生産を營むこと盛にして近時我紡績の對支發展的計畫は著しく増加し各社の狀況を示せば

社名	工場地	鍾數	機臺
内外綿	上海	二二、〇九〇	—
同	上海	三九、一三六	—
同	上海	六五、四四〇	—
同	青島	二〇、〇〇〇	—
同	上海	—	六〇〇
同	上海	三一、六二〇	—
同	上海	二六、九三六	—
上海紡績	上海	二〇、二九二	三七〇
同	上海	二五、四八〇	五一〇
同	上海	五〇、五〇二	—
日華紡績	上海	四二、〇〇〇	—
同	上海	一一、〇五六	—
同	上海	▽二〇、〇〇〇	—
豐田紡績	上海	▽六〇、〇〇〇	—
同興紡績	上海	▽六〇、〇〇〇	—
東洋紡績	上海	▽五〇、〇〇〇	—
鐘淵紡績	上海	▽五〇、〇〇〇	—

大日本紡	上海	▽五〇、〇〇〇
山本紡績	上海	▽二〇、〇〇〇
日清紡績	上海	—

樂觀し難き棉業界

近來綿絲布相場は頓に好勢を示すに至つた綿絲二〇手標準で原價百八、九十圓に比し七、八十圓の上廻り相場であるが果して現在の實需關係並に今後の棉業大勢論に符合した相場であるや今斯界有識者の議論を綜合して見るに樂觀論甚だ少く殆ど悲觀論に傾き其間自らを慰むる程度に差あるのみである悲觀論者の有力なる理由とするところを列舉せんに

内外相場比較 内地綿絲相場を英米の夫れに比較すると綿絲二十手標準で三十圓、八〇手以上で約八十圓程本邦が割高である斯く外國相場に比して高價でありながら近來相當の輸出ある所以は北支、南支及南洋方面が一時極度に買控へた反動に搗てゝ加へて在荷薄の折柄英米品の入荷少く已むなく本邦品に對して必要買をするに止まるのである従つて一朝英米品の該方面に對する入荷容易とならんか形勢一變すべきは明白の事柄である恐らく九月以降に於て形勢の變化を見るであらうと思はれる這是英米の該方面に對する約定關係及最近英國當業者が日本品との競争に於て十分成算ありと豪語し居るに見て明かである前途悲觀の因 更に他の重要なる原因を查察するに

(一)七月以降内地小紡績會社の紡機連轉數漸次増加し今日迄に開始したるもの概算五萬鍾と註せらるること(二)現行紡績聯合會決議の操短も九月に於て一割撤廢、十二月に於て全部の撤廢を見る筈で勢ひ製額は増加すべき關係にあること(三)十月以降支

那に於ける紡機運轉鍾數は非常に増加する關係にあること現在調査に依つて見ると十月以降十二月迄に支那に於ける支那紡及日本人經營紡績會社の運轉開始豫定鍾數は七、八萬鍾であつて更に又近來支那に對する英米方面からの紡機積出は甚だ多く尤も此中には邦人經營の分も包含されて居るが茲に注目すべきは日本の紡績會社が新註文紡機を殆ど支那に向つて移出し居れることである(四)現在内地綿製品在荷は同盟倉庫在荷から見ると餘程減少して居るが這は財界不況時の表面的現象であつて試みに紡績會社と綿絲布商との取引經緯及紡績會社若くは綿絲商自營の倉庫に於ける在荷滿腹の狀態とを對照查察する時は決して實質的に在荷は減少して居ない這是近來紡績會社と綿絲布商との間に荷物受授に關する紛議の甚だ多く某大紡績會社の如き自營倉庫内に契約品約五千俵を藏して大に困惑し居るに見ても其の大體を窺知し得るのである

要するに綿絲布の現相場が外國品に比し割高のこと、實需を無視したる人爲的釣上相場であること、將來生産過剩に陥るべき關係にあること、英米品との競争漸く熾烈ならんとするの兆あること、支那に於ける紡績業發達のこと等が漸く有識者をして前途に對し眉を顰めしめて居る理由であるが今日の人爲的釣上策が將來に於て再び大蹉跌を來し遂に意外の操業大短縮を餘儀なくされて一般國民に多大の迷惑を與へざれば幸ひである

綿絲商の對策 現に綿絲布商は此の大勢悲觀論を無視し飽迄も現勢人爲的商策を維持擴充せんものと專念し目下紡績會社に對し或る交渉を開始せんと準備談合中である其の内容は紡績會社が直接消費者に綿絲布を販賣するに於ては折角好勢を示し來つた綿絲布相場を崩す恐れがある故に此際紡績會社の直接販賣

を中止して貰ひたい其代り綿絲布商は紡績聯合會會員以外の小紡績會社製品は一切取扱はないとの交渉内容である由又以て近來の商人が如何に變則的物價釣上げに汲々として居るかを窺知するに足る

燐寸對支輸出悲觀

支那燐寸工場は日貨抵制の好影響を受けて斯界の霸王たる燐昌火柴会社が六十萬弗許りも儲かつた頃から、元來利に敏い支那人の事連ねられもく、燐寸會社の設立を計畫し群小燐寸會社が雨後の筍同然始末に了へぬ程澤山出來た爲、現在に於ては支那工場の燐寸生産能力は略自給し得ると云ふ狀態で

各燐寸工場は困りきつてゐる。其結果市價は日に惡化して現在在は二十二、三兩(安全)と生産費を二、三兩も喰込むに至つたので、最近燐昌、燐昌等の燐寸會社主唱の下に支那燐寸會社組合を組織し生産制限の協定をして難局を切り抜けやうとしたが、反對があつてうまく行かず唯燐昌、燐昌の二大社會のみが生産半減を協定して現に實行中であるが、中華公司は全然操業休止の狀態であると云ふ。其他の會社も注文があれば其時に製造にとりかゝると云ふ手合が多く、全能力を出して居るものは殆ど絶無と云つてもよからう。従つて支那燐寸の相場は供給過剩の爲安全二十二、三兩見當を唱へ居るに拘らず本邦品は三十一兩見當に賣却せざれば輸入引合はざる爲全然支那燐寸に對抗出來ざる破目に陥つてゐるが支那燐寸工場の激増せる現狀に鑑み旁生産費、運賃等をも考慮すれば本邦燐寸の對支輸出の將來は悲觀の一方であらう。従つて本邦燐寸會社は宜しく支那に工場を設置して支那工場と競争するより外に良策はある

まい。此意味に於て東洋燐寸が鎮人江に燐寸工場を設置したな
どは賢明な遣り口で現に相當な成績を擧げてゐる邦人は滿洲乃
至北支方面に許り勢力を集注せず中支、南支方面に眼を注げば
相當の收穫は擧げ得られるに相違ない。

對支貿易の難關

綿絲及び綿布が最近支那方面に多量の輸出を見つつあるは事實
であるが紡績業に於て日本が支那と競争することは殆ど不可能
である従つて二三年の内には我國からの太絲の輸出は停止せら
るべく中絲の輸出も漸次停止せらるゝに至り綿布もシーチング
類の如き粗製品は支那でも生産せらるゝのであるが五六年後
に至らば其の輸出も困難になるであらうと説く者あるが然し綿
布の内でも各種の加工を爲した精巧な織物で品質に於て英米と
競争し得るものならば支那の市場に於て充分發展し得るのであ
るがそれには日本の

織物工業の 技術は甚だ幼稚であつて精巧な品物を製産し得
るまでには前途頗る遼遠で相當長年月を要する然るに支那は其
間に於て日本が精巧品を製産し得るに至るよりも早く日本が現
に生産しつつある粗布類を自由に製産し得るに至るであらう事
情斯の如くであれば我國の綿絲布工業の將來は實に寒心すべき
ものと思ふ當に綿絲布工業ばかりでなく燐寸工業の如きも十年
前までは支那には殆ど見ることが出来なかつたので支那の市場
は殆ど日本の燐寸に依つて獨占されて居た觀があつたが今日で
は日本の燐寸の影が甚だ薄く殊に

支那の燐寸 に支配せられて居る私の見る所では前述の綿絲
布や燐寸ばかりでなく現在に於ける日本の粗製品は今後支那に

於て容易に製産し得ることゝなるべく我國の粗製品を生産する
工業は生産費の高きが爲めに將來支那の其種の工業と競争し得
なくなる支那に於ける工業が此の如き機運にあるものとすれば
今後に於ける日本の工業が其存立を維持せんとせば英米の製産
品と競争し得るやうな精巧なるものを製産せねばならぬ現在に
於ける我國の工業は最早支那の工業と競争し得ない時機に達し
つゝあると云ふことは

資本家又は 工業家は容易に資本を支那に移して其處で工業
を営み得るから彼等にとりては何等重大な問題ではないが然し
資本が他に移りたる後には勞働者は國內に残されて就職口に困
るので彼等にとりては重大な問題であり又日本の工業が衰頹す
ると云ふことは我國運の衰頹を意味するのであることは國家に
取りて深く考慮すべき緊急問題である然し資本家工業家は支那
で工業を営み國內に於けるが如く其利潤を收得し得るので國內
工業の衰頹に苦めらるゝ事はないであらうが一面我國

工業の退歩 は我が工業原料の輸入及び對支輸出の衰頹を來
すべきであるから貿易業者にとりては重大な問題である前述の
如き次第で我國の工業並びに貿易は今や非常なる危險に瀕して
居るのである此の危機を來した原因は何處にあるかと言へば要
するに我國に於ける生産費の増大である生産費の高きは賃銀が
高いためで賃銀の高いのは物價が高い爲めである物價の高いの
は特に小賣相場が不當に高いからである小賣相場が不當に高い
から

生活費膨脹 して賃銀が高くなるのである支那の實際を視察
し其工業の發達の爲めに優越なる各條件の備はれるを見ては我
工業界の前途につき甚大なる憂慮に打たれざるを得ぬのである

北支那產落花生油香港輸入狀況

落花生油 の輸入量は本年一月乃至三月に於て五萬三千擔に達し昨年同期の輸入量四萬擔に比し一萬三千擔の増加を見たりしが、輸出量は本年四萬七千擔昨年同期四萬二千擔を算じ結局五千擔の増加を示せり、而して之が仕向け地は米國、比律賓、暹羅、南支、海峽殖民地等にして、昨年米國向輸出は全輸出量の過半數を占め二萬二千七百四十四擔なりしもの本年は僅かに三千五百擔に減少し歐洲向きは殆ど之なざ狀態なり昨年に比し増加せるは南支、蘭領東印度、暹羅、比律賓等とす而して

北支より の輸入量五萬三千擔に達し昨年同期に於ける四萬擔に比すれば、一萬三千擔の増加となり輸入量の殆ど全部を占め居れり、從來落花生油の供給は大部分北支に仰ぎしが本年特に激増を見たるは前記諸地方に於ける需要増加せるに拘らず從來少量の當地輸入ありし日本、朝鮮、臺灣、蘭領印度等よりの輸入杜絶せる特勢ひ供給不足高を北支に求むるの止むなきに至れり

落花生實 の輸入量は昨年一月乃至三月に於て十四萬八千八百八十七擔なりしもの今年春季には、十五萬三千二百二十一擔を算し昨年に比し四千二百三十四擔の増加を告げたり、而も客年同期には、英本國、ブルマ、英領北ボルネオ、日本、朝鮮、臺灣、蘭領東印度より多量の輸入ありしも、今年は之等地方よりの輸入全く杜絶し且中部支那及び海峽殖民地等よりの輸入高も亦前年に比し減少せるを以て、北支那より輸入増加の趨勢を誘致し其高十三萬九千六百九十九擔の多量に達し昨年に比し一萬五千擔の増加を來せり

輸出額は 本年春季に於て六萬九千六百六十四擔にして昨年

同期に於ける十萬六百四十五擔に比し三萬一千擔の減少を示せり、而して英本國、加奈陀、海峽殖民地、埃及、中部及南支那日本、朝鮮、臺灣、暹羅、比律賓向輸出激増し反之佛領印度、支那米國向輸出高減退甚だしきを見る而して昨年當地より輸出せらるゝ本品の仕向け地は米國、南支、佛領、印度、支那、比律賓、濠洲、加奈陀等の順序なりしが、本年は南支、暹羅、比律賓各佛領印度支那、濠洲、加奈陀、英本國等の順序となり、昨年當地輸出高の半數は

米國仕向 にして歐洲に仕向けらるゝもの三十擔内外に過ぎざりしが本年同期には、米國向輸出激減し、歐洲向輸出亦前年に比し大差なし

本年春季に於ける北支那產落花生油及び同實の當地輸入激増の原因は廣東商人が英國商人の手先となり之を買占め神戸橫濱を経由せずして、當地より歐洲及び亞米利加方面に直輸出をなすが爲めに非ずして、北支以外の原產地よりの當地輸出杜絶又は減退せる爲め北支產品の買氣旺盛を惹起せるものゝ如し、事實上當地に於ける落花生輸出入商は、大部支那商人にして落花生油輸出入商は天源、天副、南茂、興隆、廣裕和等にして、同實貿易商は、廣隆、廣恭、萬隆、廣安等を主として之等支那商人は當地に輸入の上荷造を改め自己名義を以て、再輸出をなし西洋商社の手を経て輸出せらるゝこと極めて稀なり、一九一九、二〇年一九二一年一月乃至三月に於ける落花生油及び實の當地輸出入量左の如し

(甲) 落花生油輸出入量

(イ) 輸入數量(單位擔)

原產地

一九一九年
一月—三月一九二〇年
一月—三月一九二一年
一月—三月

北 部 支 那	二五、八五六	三九、二七四	五三、七六〇
中 部 支 那	—	二八一	三一
海峽殖民地	—	一八二	—
日本朝鮮臺灣	—	六六〇	—
蘭 領 印 度	—	四二七	—
佛領印度支那	二二九	—	—
計	二六、〇八五	四〇、八二四	五三、七九一
(ロ) 輸出數量			
仕 向 地	同 上	同 上	同 上
英 本 國	—	—	二
濠 州	六四六	四一二	六九七
加 奈 陀	七九七	六四二	九九二
印 度	二五	一〇	六
プ ル マ	七六	二一	二〇
海峽殖民地	六、〇二五	四、五四九	二〇、七四三
埃 及	一、三五〇	—	—
英領北ボルネオ	—	—	一、一六二
英領北ボルネオ	五三〇	八八〇	一、一六〇
西 亞 利 加	—	—	七
北 部 支 那	—	—	一
中 部 支 那	一六五	—	七
同 (帆船積)	九	—	—
南 部 支 那	七、六三七	六、七三三	九、一四一
同 (帆船積)	三、八三五	一、二六一	一、四三三
日本、朝鮮、臺灣	一〇	九	一九一
蘭 領 印 度	四六	八三	一、〇三一
佛領印度支那	三〇	九四一	九〇九
暹 羅	六七〇	四八〇	二、五五三
比 律 賓	二、二六一	三、〇九一	四、〇一六
米 國	一、七二六	二一、七四四	三、五三一
キ ュ ー バ	—	四〇	一四

中央亞米利加其他	三五二	七八	一二六
計	二六、〇九二	四二、〇九〇	四六、九四一
(乙) 落花生實の輸出入量			
(イ) 輸入數量(單位擔)			
原 産 地	同 上	同 上	同 上
北 部 支 那	一二七、二五〇	一二三、八二五	一三九、六九九
中 部 支 那	二一八	四八	一六
英 本 國	—	一六八	—
プ ル マ	—	六、一一四	—
海峽殖民地	—	一四、六六三	一三、四〇六
英領ボルネオ	—	五六七	—
日本、朝鮮、臺灣	—	一、三六九	—
蘭領東印度	—	二、一三三	—
計	一二七、四六八	一四八、八八七	一五三、一二一
(ロ) 輸出數量			
仕 向 地	同 上	同 上	同 上
英 本 國	—	—	一、〇〇九
濠 州	八四〇	二、〇三五	二、一二二
加 奈 陀	二八一	一、三四六	一、九二三
印 度	八	—	—
海峽殖民地	二、二二六	一〇五	九〇七
埃 及	—	—	四二〇
英領北ボルネオ	—	—	—
英領北ボルネオ	一四七	三三五	二四四
北 部 支 那	二、〇二〇	四六二	一、三八九
同 (帆船積)	一三九	二一七	一、〇一七
南 部 支 那	二、二三一	二〇、〇九〇	二八、一九九
同 (帆船積)	二〇、九五二	一二、八七八	一三、〇五〇
同 (鐵道積)	—	二九	三八四
日本、朝鮮、臺灣	—	—	九七九
佛領印度支那	八二一	三、六二六	二、四六二

暹羅	五、〇〇二	一、三八八	六、四〇三
比律賓	五、四一六	三、〇二一	五、七九五
米國	二七	五〇、三〇五	五三三
キユーバ	一	五七	一
中央亞米利加	八七〇	三、七四二	二〇〇
南亞米利加	一六八一	一、七一一	一六八一
伊波ラ	一六八	一六八	一六八
計	六五、九八三	一〇〇、六四五	六九、六六四

備考 香港に於ける落花生油及實の荷造様式

(一) 落花生油は七十四乃至七十六封度の葉鐵罐に入れ其上を木箱を以て蔽ふを常とす

(二) 落花生實は當地陸揚の上日光に曝し乾燥せしめ虫を除ける後「アンペラ」の袋に百封度宛入れて荷造をなす

支那貿易港の人口

支那海關の調査發表する所により一九二〇年支那海外貿易各港の人口を見るに上海は百五十萬を以て首位に居り漢口は百四十六萬一千を以て第二位を占め廣州は九十萬杭州には八十九萬二千天津は八十萬を以て順次之に次ぐ其他寧波、福州、長沙、蘇州は何れも五十萬以上の人口を有せり

今一九二〇年の人口を一九一五年及一九一〇年と對比すれば

支那貿易港人口比較表

	一九一〇年	一九一五年	一九二〇年
愛 琿	九、〇〇〇	二五、四一〇	一五、〇〇〇
三 姓	九、五〇〇	三五、七一〇	一、四〇〇
滿州里	五、〇〇〇	四、五〇〇	一、〇〇〇
哈爾濱	三〇、〇〇〇	二八、六〇〇	一五〇、四〇〇
綏芬河	二〇、〇〇〇	一、二九〇	四、三〇〇
琿 春	二〇、〇〇〇	二、六一〇	三、八〇〇
龍井村	一	六七〇	三、二〇〇

安東	一四三、〇〇〇	一二〇、四一〇	九〇、二〇〇
大東溝	三、〇〇〇	四、一五〇	四、二〇〇
大連	一六、〇〇〇	四〇、八六〇	一二四、〇〇〇
牛莊	五二、〇〇〇	五四、三八〇	六四、五〇〇
秦島	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇
天津	八〇〇、〇〇〇	八〇〇、〇〇〇	八〇〇、〇〇〇
芝罘	九五、〇〇〇	三、八六〇	五、四〇〇
青島	三四、〇〇〇	五四、四五〇	五四、五〇〇
重慶	五九八、〇〇〇	四四、四九〇	六七、八〇〇
萬縣	二二〇、〇〇〇	五一七、五二〇	四八九、九〇〇
長沙	二〇、〇〇〇	二五〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇
岳州	七〇、〇〇〇	二一、〇〇〇	五三五、八〇〇
宜昌	八六、〇〇〇	五五、〇〇〇	四、五〇〇
沙市	八六、〇〇〇	一〇五、〇〇〇	五五、〇〇〇
漢口	八二六、〇〇〇(十一)	三三二、八二一(十一)	一〇五、〇〇〇
九江	三六、〇〇〇	三六、〇〇〇	三六、〇〇〇
蘇州	二二九、〇〇〇	九九、六四〇	一二六、一〇〇
南京	二六七、〇〇〇	三六八、八〇〇	三九二、一〇〇
鎮江	一八四、〇〇〇	一二八、〇三〇	一〇二、八〇〇
上海	六五一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇
溫州	四〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
寧波	四〇〇、〇〇〇	五九四、二三〇	八九二、一〇〇
福州	一〇〇、〇〇〇	四六五、〇〇〇	六二七、七〇〇
廈門	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	二〇〇、九〇〇
汕頭	六二四、〇〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇
廣州	九〇〇、〇〇〇	六二四、〇〇〇	六二四、〇〇〇
江門	九〇〇、〇〇〇	七五、〇〇〇	一一四、〇〇〇
澳門	六二、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	八五、〇〇〇
香港	六二、〇〇〇	六二、〇〇〇	七三、〇〇〇

三水	六、〇〇〇	六、〇〇〇
瓊州	四二、〇〇〇	四八、九三〇
北海	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇
梧州	五九、〇〇〇	四〇、〇〇〇
南甯	三七、〇〇〇	五〇、〇〇〇
龍州	二五、〇〇〇	一三、〇〇〇
蒙自	二五、〇〇〇	一〇、九〇〇
黑茅	一五、〇〇〇	一〇、二〇〇
騰越	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇

備考(十)印は武昌漢陽の人口を含む

右數字は固より推定數なれば悉く信を置くに足らずとするも之を一九一五年及一九一〇年と對比し其増減の狀勢を窺ふときは其間に多少の興味なくんばあらず例へば秦王島、天津、九江蘇州、三都澳、福州、厦門、廣州、三水、北海、騰起等の如く十年前と全く同一にして些の増減を見ざるものと同時に三姓、琿春、安東、芝罘、重慶、岳州、宜昌、鎮江、梧州、蒙自等の如く十年前に比し却て減少せるものあり

之に反し哈爾濱、大連、牛莊、青島、長沙、漢口、上海、杭州、寧波、温州、瓊州等の如く十年前に比し著しく増加せるものあり而して各港貿易額増減の大勢を見るに大體に於て以上の狀勢と一致するものあるが如し亦以て各港の將來を卜する一助となすに足らんか。

在支外國商社及人口數

支那海關の調査發表する所によれば一九二〇年在支那外國商社數は七千三百七十五にして人口は三十二萬六千六十九なり之を前年に比するに商社數は六百四十、人口は二萬四千九百二十二を何れも減少せり然れども歐洲大戰前の一九一三年に比すれば

ば商社數、人口共に尙約倍加の狀勢にあり。
一九二〇年の統計を前年及一九一三年の統計を對比すれば左の如し。

	一九一三年		一九一九年		一九二〇年	
	商社數	人口	商社數	人口	商社數	人口
米國	一三三	五、三四〇	一三四	六、六六〇	四〇九	七、二六九
奧地利	三三	四、九	五	一、七	一	二、四
白耳義	三三	一、六	二〇	三、九	三六	五、二
伯刺西爾	一	一	一	一	一	一〇
英國	五九〇	八、九六六	六四四	一三、三四	六九	一、〇八二
丁抹	二四	三、四	二七	五、四六	七	五、五
和蘭	二〇	一、六	三三	三、七	七	四、一
佛國	一〇六	二、九三	一七(十)	四、四九	一八(十)	一、七五
獨逸	二九六	二、九	二	一、三三	九	一〇、三
洪牙利	二	二	一	一、一	一	八
伊太利	元	三、五	元	二、七	七	五、四
日本	一、六	八、〇二九	四、八	一、二、四八五	四、二	一、五、九八
墨西哥	一	一	一	一	一	一
諸威	七	二、四	三	二、四	一四	三、七
葡萄牙	興	三、四六	九三	二、三九〇	五	二、八二
露國	一、三	六、七五	一、七〇	一、四八、一七〇	一、九六	一、四、四三
西班牙	三三	一、三	八	二、七	八	二、八
瑞典	三	二、九	四	六、三	八	四、六
無條約國	六	一、六四五	三三	五、六	二一	一、三
合計	三、〇五	一、三、八七	八、〇五	三、五、九一	七、七五	三、六、〇九

右表に明かなるが如く商社數に於ては本邦最も多く露國之に次ぐも我が三分の一強にして其他英、米、佛等順次之に次ぐ又人口に於ては本邦首位に居り露國是と伯仲の間にありて英、米、佛、葡、獨等之に次ぐ。
而して前年に比し日露兩國は商社數、人口共に大に減少せる

も米、白、伊等は商社數、人口共に大に増加し英、佛、瑞典等は商社數に於て増加せるも人口に於て減少を示せり蓋し世界的財界の不況と歐米の對支貿易復興との二現象錯綜せる結果に外ならざるべし。

協會錄事

定例總會

當協會總會は八月九日午後七時半グラントホテルに於て開會出席會員左の如し

伊藤忠商會社支店	岩城商會
原田汽船會社支店	日華協信公司支店
東洋拓殖會社支店	大倉商會社出張所
大日本麥酒會社出張所	青島製粉會社
山田出張所	中村組支店
三菱商會社出張所	山東化學工業所
青島絲廠	三井物產會社支店
湯淺洋行	大日本紡績會社
正隆銀行支店	

(石橋副會頭)

本夕は佐々木會頭旅行不在に付不肖代て重要事項に付御報告せん

一、(在支日本人商業會議所)聯合會より通知に付回答の件之は先般上海に於て開かれたる在支日本人商業會議所聯合會の決議に基き諸般各方面へ請願建議書等の提出方に付上海側

より腹案を示し意見を求め來りたるを以て夫々研究の結果別に異議なきにより然るべく御取計を乞ふ旨回答し置けり其の項目は左の如し

- 支那人教育機關設置に關し請願の件 (外務大臣宛)
- 對支慈善病院建設に關し建議の件 (外務大臣宛)
- 對支言論政策に關し請願の件 (外務大臣宛)
- 支那に農事試驗場設置に關し建議の件 (外務大臣宛)
- 重要輸出入品檢定試驗所設置に關し請願の件 (小幡公使宛)

○本邦輸出貨物の包裝統一に關し請願の件

(外務大臣、農商務大臣宛)

一、關稅改正問題

之は去る七月一日の總會に於て御協議いたしたる通り本年秋再ひ支那側より提議あるやも知れず依て之に對する準備のため日本商工業者として種々材料を日本側委員に提供する様努力のため民政署より諮問事項等御配附いたし置きたるが猶此際一昨年改正會議の經過に就き東京朝日の記事を拔萃御參考に供す此問題に付材料を有せらるゝ方は至急協會宛御提出を乞ひ協會の方に於て研究の分と合せ夫々回答することとしたし

一、商業會議所設立問題

之は去る七月一日の總會に於て委員の選定あり商業組合、商工組合よりも委員の選定あり此の三團體の委員は七月十五日第一回の委員會を協會會議室に開き此の委員會に於て更に特別委員なるものを各團體より三名宛選定し之に佐々木會頭倉脇商業組合副組合長、西川商工組合長を合せ十二名の特別委員は其の後屢々會合して定款の作製其他に就き協議し一切の書類成りたる

一、日華實業協會總會報告

之にて諸般の報告を終り左記會員代表者の異動紹介あり

伊藤忠商事會社支店
代表者 上林喜三治郎君

日華協信公司
同 千 秋
寬君

次て石橋副會頭は

一、吉見書記長より「商工便覧」發刊に付

會員各位の援助方申出の件

に付一言し本件は吉見書記長個人の事業にして當地商工業者に
取り必要なる出版物と信するを以て御援助を乞ふ旨事情を述へ
吉見書記長更に起て本件出版を計畫するに至りたるも意に滿た
ざる點多く甚だ漸愧に堪へさるも幸に各位より御援助を賜はり
度き旨挨拶せり

此の外低利資金運用の件正金新支配人及舊副支配人歡送會開催の件等話題に上りたるも追て研究發表のこととし午後九時半散會せり

寄贈書類目錄

（大正十年七月）
（中到着分）

月	月
報	報
第一二一號	第一六七號
福井商業會議所	名古屋商業會議所

[illegible]

公 所 報 論	第一三八號	山東 公 論 社
所 報	第三六號	長崎 商業會議所
所 報	第四卷第七號	東京 商業會議所
商 工 報	第三六號	大坂市役所商工課
東 拓 報	第一一號	東 洋 拓 殖 會 社
統 計 報	大正十年六月	上海日本商業會議所
經 濟 報	第一三號	山東經濟時報社
埠 頭 報	大正十年五月	民 政 部 鐵 道 部
東 方 報	大正十年六月	東 方 通 信 社
日 華 報	第八卷第七號	日 華 公 論 社
上 海 報	第三卷第六號	上 海 公 論 社
青 島 報	大正十年五月中	青島守備軍民政部
貿 易 報	第一六九號	大坂商業會議所
經 濟 報	第七卷第七號	東亞經濟調查局
興 信 報	第四〇號	青 島 興 信 所
統 計 報	大正八年	奉天商業會議所
港 務 報	大正十年 自一月至六月	青 島 港 務 所
熊 本 報	第五五號	熊 本 商 業 會 議 所
比 島 報	第六號	臺灣總督府商品陳列所
內 外 報	第八卷第七號	農商務省商品陳列館
棉 花 報	自第三二二號至第三二三號	日 本 棉 花 同 業 會
營 業 報	(第七期)	株 式 會 社 龍 口 銀 行
工 業 報	(第一卷棉花)	青 島 守 備 軍 司 令 部
鄭 州 報		同 上
山 東 報		同 上

第四編(家蠶)



入 港 上 陸 之 部

區 別	男女別	大連	日 本 內 地				朝鮮	上海	榮芝	香港	安東縣	石臼所	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東省	計
			大阪	神戸	門司	其他												
日 本	人{ 男	294	9	303	412	42	6	127	3	—	1	—	6	—	—	—	—	1,203
	女	55	4	108	169	26	7	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	392
支 那	人{ 男	3,004	7	44	27	10	—	403	63	—	1,212	223	137	1,824	653	274	185	8,066
	女	196	—	1	—	—	—	76	12	—	102	26	11	566	227	68	40	1,325
英 國	人{ 男	4	—	—	—	—	—	27	1	—	—	—	—	—	—	—	—	32
	女	—	—	—	—	—	—	24	—	1	—	—	—	—	—	—	—	25
露 國	人{ 男	30	—	1	2	—	—	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	46
	女	14	—	1	—	—	—	29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	44
米 國	人{ 男	4	—	1	—	—	—	31	4	—	—	—	—	—	—	—	—	40
	女	1	—	—	—	—	—	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33
獨 逸	人{ 男	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
	女	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
佛 國	人{ 男	—	—	—	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	女	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
伊 太 利	人{ 男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
和 蘭	人{ 男	1	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	女	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
波 蘭	人{ 男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1
葡 萄 牙	人{ 男	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
奧 國	人{ 男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
希 臘	人{ 男	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	女	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
瑞 典	人{ 男	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
丁 抹	人{ 男	1	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	女	—	—	—	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
イストニア人	男女	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
レトヴァニア人	男女	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男女	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
フィンランデン人	男女	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	男	3,338	16	349	443	51	6	616	—	72	1,213	223	143	1,824	653	274	185	9,407
	女	268	4	110	169	26	7	208	1	13	102	26	11	566	227	68	40	1,846
	計	3,606	20	459	612	77	13	824	1	85	1,315	249	154	2,390	880	342	225	11,253

備考 表中●印ハ帆船ニ依リ膠州灣外ヨリ渡來セル旅客トス

青島港出入船舶旅客

(大正十年六月)

出 航 乘 船 之 部

區 別	男 女 別	大 連	日 本 內 地				朝 鮮	上 海	安 東 縣	福 州	臺 灣	廣 東	浦 鹽	石 臼 所	海 州	山 東 省	江 蘇 省	福 建 省	關 東 州	計
			大 阪	神 戶	門 司	其 他														
日 本 人	男	276	17	159	456	43	14	76	—	1	1	—	—	—	4	—	—	—	—	1,047 459
	女	70	5	83	232	24	9	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
支 那 人	男	957	7	9	13	14	10	209	205	—	—	1	3	377	177	4,896	2,929	235	100	10,142 554
	女	75	—	—	—	—	—	36	43	—	—	—	—	10	4	221	98	45	22	
英 國 人	男	5	—	—	—	—	—	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17 11
	女	3	—	—	—	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
露 國 人	男	28	—	1	2	—	1	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38 30
	女	22	—	2	1	—	1	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
米 國 人	男	8	—	1	1	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16 10
	女	6	—	1	1	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
獨 逸 人	男	—	—	2	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4 1
	女	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
佛 國 人	男	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 —
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
瑞 典 人	男	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2 —
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
丁 抹 人	男	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2 1
	女	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
セルビヤ フ 人	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	— 1
	女	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
フィリッ ン 人	男	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	— 1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合 計	男	1,276	24	172	473	57	25	314	205	1	1	1	3	377	181	4,896	2,929	235	100	11,270 1,937 12,307
	女	178	5	86	234	24	10	57	43	—	—	—	—	10	4	221	98	45	22	
	計	1,454	29	258	707	81	35	371	248	1	1	1	3	387	185	5,117	3,027	280	122	

備考 表中●印ハ帆船ニ依リ膠州灣外へ出港セル旅客トス

入港旅客ニ比シ出港旅客ノ多數ナルハ山東及江蘇省出稼苦力ノ多キニ因ル

日	付	甲號 七月十五日限		甲號 八月十五日限		甲號 九月十五日限		車 數 計
		車 數	信託 入帳值	車 數	信託 入帳值	車 數	信託 入帳值	
廿廿廿	六七八九	—	—	4	7.55	—	—	4
		—	—	4	7.45	—	—	4
		—	—	4	7.45	—	—	4
		—	—	出 來 不 申	—	—	—	—
		248	—	177	—	—	—	425

落花生油 粗油

日	付	七月廿五日限		八月廿五日限		九月廿五日限		車 數 計
		車 數	信託 入帳值	車 數	信託 入帳值	車 數	信託 入帳值	
一二三四五	日日日日	642	16.45	498	16.35	—	—	1,140
		309	16.50	323	16.45	—	—	632
		—	—	—	—	—	—	—
		393	17.40	189	17.30	—	—	582
		—	—	—	—	—	—	—
六七八九十	日日日日	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—
		7	17.45	12	18.20	—	—	19
		—	—	—	—	—	—	—
十十十十	一二三四五	22	18.30	118	18.40	—	—	140
		7	17.40	59	17.75	—	—	66
		—	—	—	—	—	—	—
		87	16.70	153	16.65	—	—	240
		69	16.00	162	16.20	—	—	231
十十十二	六七八九十	71	15.85	247	16.25	—	—	318
		—	—	—	—	—	—	—
		82	16.30	242	17.05	—	—	324
		68	16.88	298	17.70	—	—	366
		105	17.40	460	18.45	—	—	565
廿廿廿廿	一二三四五	532	17.50	358	18.55	—	—	890
		44	17.45	344	18.40	—	—	388
		58	17.35	347	18.25	—	—	405
		—	—	—	—	—	—	—
		—	—	242	18.50	—	—	242
廿廿廿	六七八九	—	—	357	17.90	—	—	357
		—	—	373	17.15	—	—	373
		—	—	347	16.75	1	17.50	348
		—	—	473	16.65	—	—	473
		2,496	—	5,602	—	1	—	8,099

品名	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷拔所		計
		一車拔	小口拔	一車拔	小口拔	一車拔	小口拔	
麻袋及布 容飲料 穀 雞 紅 其 機 蠟 驢及驢 豚 馬 牛	發著	193.0	29.1	—	—	5.3	—	227.4
	"	2.3	16.8	0.3	0.4	—	—	19.8
	"	46.8	14.3	64.8	—	—	—	125.9
	"	8.8	2.1	51.7	3.6	792.1	—	858.3
	"	8.5	11.9	—	—	—	—	20.4
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	1.2	—	—	—	1.2
	"	—	—	51.5	—	—	—	51.5
	"	0.6	4.6	—	—	—	—	5.2
	"	—	—	—	—	—	—	80
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	0.2	0.2
	"	65.4	37.4	0.3	—	20.4	0.3	123.8
	"	196.6	5.1	17.6	0.8	33.6	—	253.7
	"	—	—	—	—	375.8	0.2	376.0
及驢 馬 牛	"	—	—	—	—	4.2	—	4.2
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	80	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	2.463	—	—	—	—	—	2.463

青島取引所重要物產出來高表

(七月中)

落花生實

日付	甲號七月十五日限			甲號八月十五日限			甲號九月十五日限			車數計
	車數	信託帳入值段		車數	信託帳入值段		車數	信託帳入值段		
一二三四五六七八九十	34	7.66		5	7.71		—	—		39
一二三四五六七八九十	10	7.69		3	7.74		—	—		13
一二三四五六七八九十	—	—		—	—		—	—		—
一二三四五六七八九十	23	7.51		3	7.67		—	—		26
一二三四五六七八九十	—	—		—	—		—	—		—
一二三四五六七八九十	—	—		—	—		—	—		—
一二三四五六七八九十	64	8.10		6	8.58		—	—		70
一二三四五六七八九十	14	8.25		5	8.70		—	—		19
一二三四五六七八九十	—	—		—	—		—	—		—
一二三四五六七八九十	40	7.50		19	8.02		—	—		59
一二三四五六七八九十	30	7.13		10	7.33		—	—		40
一二三四五六七八九十	出	不申		出	不申		—	—		—
一二三四五六七八九十	33	7.05		5	7.60		—	—		38
一二三四五六七八九十	—	—		13	7.43		—	—		13
一二三四五六七八九十	—	—		16	7.68		—	—		16
一二三四五六七八九十	—	—		13	7.59		—	—		13
一二三四五六七八九十	—	—		3	7.56		—	—		3
一二三四五六七八九十	—	—		18	7.53		—	—		18
一二三四五六七八九十	—	—		13	7.45		—	—		13
一二三四五六七八九十	—	—		13	7.64		—	—		13
一二三四五六七八九十	—	—		14	7.61		—	—		14
一二三四五六七八九十	—	—		6	7.70		—	—		6

品名	發 著	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
支那酒 食料品 (表中記載除外)	發著	—	1.1	—	—	—	—	1.1
	"	—	1.0	—	—	—	—	1.0
	"	334.3	27.6	—	—	—	0.1	362.0
	"	2.3	6.8	8.3	—	19.5	—	36.9
乾物	"	—	2.3	—	—	—	—	2.3
	"	—	—	—	—	—	—	—
野菜	"	11.7	1.9	—	—	—	—	13.6
	"	27.1	1.7	—	—	—	—	28.8
藍卵	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	331.5	53.1	245.9	0.1	48.2	—	678.8
塗料	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	90.2	5.0	1.2	—	26.1	—	122.5
染藥品及藥材	"	12.0	1.6	26.1	—	32.5	—	72.2
	"	15.5	16.2	—	—	—	—	31.7
曹達	"	11.4	2.5	—	—	0.1	—	14.0
	"	—	1.1	1.5	—	44.5	—	47.1
石煙葉	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	6.6	5.7	—	—	—	—	12.3
煙草	"	4.2	0.1	2.3	—	—	—	6.6
	"	70.1	50.7	—	—	102.6	—	223.4
煙草	"	3.4	3.8	—	—	—	—	7.2
	"	—	—	—	—	—	—	—
茶豚羊	"	0.1	—	4.4	—	128.5	—	133.0
	"	78.0	5.2	—	—	—	—	83.2
豚羊毛	"	1.2	0.1	—	—	—	—	1.3
	"	7.5	2.1	—	—	—	—	9.6
獸牛豚	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	3.0	—	—	—	29.4	—	32.4
魚類	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	36.3	—	2.1	—	—	—	38.4
昆布其他海草	"	4.2	0.1	—	—	—	—	4.3
	"	9.8	0.7	13.4	—	2.3	—	26.2
木雜貨 (表中記載除外)	"	17.3	1.1	—	—	—	—	18.4
	"	471.7	10.7	—	—	—	—	482.4
燐寸材	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
	"	0.1	0.1	—	—	—	—	0.2
燐火銅	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
青銅家	"	17.9	—	15.7	—	53.5	—	87.1
	"	—	—	—	—	—	—	—
銅貨	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
	"	—	3.8	—	—	—	—	3.8
銅具	"	32.6	2.6	—	—	—	—	35.2
	"	—	0.4	—	—	—	—	0.4
銅家	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	0.9	11.3	—	—	—	12.2
銅家	"	0.6	3.3	—	—	—	0.3	3.9
	"	9.2	1.4	1.1	0.6	—	—	11.3

品名	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
麻	花	—	0.7	—	—	—	—	0.7
綿	布	0.4	—	—	—	—	—	0.4
綿	布	1.1	—	2.1	—	572.2	—	575.4
綿	布	23.0	—	46.2	—	—	—	69.2
綿	布	250.3	17.5	—	—	60.4	0.1	328.3
綿	布	0.2	12.6	—	—	—	—	12.8
綿	絲	1,030.5	44.9	20.9	—	27.1	—	1,123.4
綿	絲	—	1.9	261.4	—	11.0	—	274.3
綿	絲	—	0.3	—	—	—	0.1	0.4
絹	絲 (屑ヲ含ム)	1.5	1.8	—	—	—	—	3.3
絹	絲 (屑ヲ含ム)	—	—	—	—	—	—	—
絹	絲 (屑ヲ含ム)	30.7	2.0	—	—	—	—	32.7
絹	布	—	1.0	—	—	—	—	1.0
繭	繭 (屑ヲ含ム)	3.6	4.1	—	—	—	—	7.7
繭	繭 (屑ヲ含ム)	—	—	8.4	—	—	—	8.4
梨	梨	2.2	—	—	—	—	—	2.2
乾	柿	—	—	—	—	—	—	—
胡	桃	—	—	—	—	—	—	—
密	柑	—	0.2	—	—	—	—	0.2
瓜	瓜	—	—	—	—	—	—	—
瓜	子	300.0	4.4	80.1	0.9	—	—	385.4
瓜	子	2.7	0.9	—	—	—	—	3.6
果實 (表中記載ノモノヲ除ク)	油	—	—	—	—	—	—	—
石	油	30.1	1.8	—	—	—	—	31.9
落	花生油	—	0.1	341.0	—	398.8	—	739.9
豆	油	781.0	0.8	2,545.9	—	3.7	—	3,331.4
牛	油	—	—	—	—	—	—	—
油	油	41.5	—	22.8	—	—	—	64.3
油	油	2.6	—	2.6	—	—	—	5.2
油	油	17.6	4.2	8.9	—	—	—	30.7
油	油	7.3	1.2	7.6	—	—	—	16.1
油	粕	427.2	—	—	—	22.9	—	450.1
油	粕	75.0	—	9.7	—	—	—	84.7
油	粕	1.7	0.2	49.0	—	—	—	50.9
油	粕	—	0.1	—	—	—	—	0.1
油	粕	—	—	—	—	—	—	—
油	粕	31.7	2.7	—	—	—	—	34.4
油	粕	—	—	—	—	—	—	—
油	粕	23.2	—	2.6	—	—	—	25.8
油	粕	—	—	—	—	—	—	—
油	粕	61.5	—	—	—	—	—	61.5
油	粕	2.8	0.6	—	—	—	—	3.4
油	粕	—	—	—	—	—	—	—
砂	糖	1,777.2	13.8	15.1	—	679.2	—	2,485.3
砂	糖	—	—	—	—	—	—	—
砂	糖	—	4.2	—	—	—	—	4.2
砂	糖	—	0.9	—	—	—	—	0.9
砂	糖	—	16.8	14.8	—	3.7	—	35.3
砂	糖	—	—	—	—	—	—	—

青島三驛發着貨物統計

(大正十年七月)

(單位噸 獸類ハ頭數)

品名	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
石炭	炭	—	0.1	—	—	—	—	0.1
コ	ス	1,550.0	0.9	225.0	0.1	7520.0	—	9,296.0
石	ス	310.0	0.2	—	0.1	1,538.8	0.3	1,849.4
灰	灰	—	—	—	—	824.7	—	824.7
煉瓦 (瓦ヲ含ム)	煉瓦	0.4	—	—	—	—	—	0.4
セメン	セメン	22.5	0.1	—	—	—	—	22.6
硝子板	硝子	7.5	7.9	68.2	—	—	—	82.7
硝子製品	硝子	—	—	285.0	—	—	—	285.0
桐	桐	18.4	1.2	—	—	—	—	19.6
木材 (板ヲ含ム)	木材	—	0.9	—	—	—	—	0.9
竹及割竹	竹	12.7	1.0	—	—	1.2	—	14.9
石白	石白	32.1	1.3	—	—	—	—	33.4
石材及同製品	石材	—	—	—	—	—	—	—
鐵板鐵製品	鐵板	407.4	0.4	1,084.1	—	—	—	1,491.9
鐵鍋	鐵鍋	309.0	28.5	74.0	—	425.0	—	836.5
古鐵	古鐵	8.0	0.1	6.3	—	—	—	14.4
大豆	大豆	—	0.1	—	—	—	—	0.1
豆類 (大豆ヲ除ク)	豆類	—	0.4	—	—	—	—	0.4
高粱	高粱	4.2	—	—	—	—	—	4.2
小麥	小麥	—	—	—	—	—	—	—
米	米	29.3	—	—	—	—	—	29.3
穀類 (表中記載ノモノヲ除ク)	穀類	—	0.2	—	—	—	—	0.2
落花生	落花生	86.4	15.5	18.1	—	43.2	0.4	163.6
麥粉	麥粉	5.2	1.0	—	1.8	14.8	—	22.8
陶磁器及土器	陶磁器	17.2	0.5	2.7	—	—	—	20.4
支那紙	支那紙	431.0	0.7	—	—	—	—	431.7
紙 (支那紙ヲ除ク)	紙	—	—	—	—	—	—	—
大豆	大豆	597.9	—	8.6	—	—	—	606.5
豆類 (大豆ヲ除ク)	豆類	—	—	—	—	—	—	—
高粱	高粱	14.4	1.3	14.1	—	—	—	29.8
小麥	小麥	32.3	0.1	—	—	—	—	32.4
米	米	240.0	—	44.1	—	29.0	—	313.1
穀類 (表中記載ノモノヲ除ク)	穀類	—	—	—	—	—	—	—
落花生	落花生	289.6	—	4.6	—	—	—	294.2
麥粉	麥粉	132.3	—	29.9	—	—	—	162.2
陶磁器及土器	陶磁器	0.9	21.0	7.5	—	—	0.1	29.5
支那紙	支那紙	304.9	0.2	2.5	0.1	—	—	307.7
紙 (支那紙ヲ除ク)	紙	327.7	0.6	9.5	—	—	—	337.8
落花生	落花生	21.5	0.2	15.3	—	—	—	37.0
麥粉	麥粉	—	—	—	—	—	—	—
陶磁器及土器	陶磁器	—	—	—	—	—	—	—
支那紙	支那紙	—	—	—	—	—	—	—
紙 (支那紙ヲ除ク)	紙	—	—	—	—	—	—	—
落花生	落花生	—	—	—	—	—	—	—
麥粉	麥粉	—	—	—	—	—	—	—
陶磁器及土器	陶磁器	—	—	—	—	—	—	—
支那紙	支那紙	—	—	—	—	—	—	—
紙 (支那紙ヲ除ク)	紙	—	—	—	—	—	—	—
落花生	落花生	—	—	—	—	—	—	—
麥粉	麥粉	—	—	—	—	—	—	—
陶磁器及土器	陶磁器	—	—	—	—	—	—	—
支那紙	支那紙	—	—	—	—	—	—	—
紙 (支那紙ヲ除ク)	紙	—	—	—	—	—	—	—

品目	單位	日本	露國	英國	香港	其ノ他	大連	上海	其ノ他	合計
牛桐同葉蔬	擔兩	2,709	—	—	—	—	31	—	76	2,816
材丸	"	43,919	—	—	—	—	67	—	—	43,986
(下駄臺)太煙菜	"	31,942	—	—	—	—	57	—	—	31,999
桃麥毛	"	140	—	—	—	—	—	19,186	2,686	22,012
胡小羊	"	67	—	—	—	—	—	—	—	67
	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	789	—	789

民船貿易 (大正十年六月)

一膠海關統計一

品名	單位	移入	移出	灣內運輸	品名	單位	移入	移出	灣內運輸
竹竹豆黑綠	本擔同同同	5,178	—	—	花生仁皮	擔同同同同	42,951	370	10,435
白雞牛欽甌	同同同同同	1,275	—	4	落生鍋豚石	同同同同同	57	—	6
(糧食品)麥粟黍	同同同同同	23,007	—	—	各藥豆草花	枚擔同同同	—	540	17
大豆黃豆骨帽	同同同同同	810	—	—	麻子	同同同同同	—	—	—
大高玉粟	同同同同同	23	—	—	胡桐上次胡	擔同同同同	50	940	165
米小栗磁綿	同同同同同	19,797	120	315	乾鹽陶葦食	同頭擔同同	3,150	—	1,600
石コ古棉黑	噸同擔同同	—	—	2	酒海杏瓜胡	同同同同同	67	83	—
紅鶴綵	擔個個	98	—	63	曹麥牛重輕	擔同同同同	—	369	4
大	"	1,957	69,670	—	葉蘿大鮮粉	同同同同同	8,721	7,379	5,372
苧鹽麥	同同同同同	—	—	—	胡椒等	同同同同同	—	—	5
林	同同同同同	94	—	—	達田油料	同同同同同	11	—	—
葡萄梨山蒜鮮落	同同同同同	20,724	—	—	鼠仁子麻	同同同同同	821	—	16
		32,092	13	560	乾鹽陶葦食	同同同同同	—	—	—
		27	—	—	酒海杏瓜胡	同同同同同	—	—	—
		633	—	6	曹麥牛重輕	同同同同同	—	—	—
		13,206	—	10	葉蘿大鮮粉	同同同同同	1	253	—
		—	—	—	胡椒等	同同同同同	76	—	522
		715	—	—	達田油料	同同同同同	—	—	15,016
		3	—	—	鼠仁子麻	同同同同同	2	—	—
		—	1,048	927	乾鹽陶葦食	同同同同同	—	—	—
		—	55	27	酒海杏瓜胡	同同同同同	—	—	—
		26	—	51	曹麥牛重輕	同同同同同	—	4	—
		405	5	—	葉蘿大鮮粉	同同同同同	—	98	125
		—	—	—	胡椒等	同同同同同	42	—	18
		—	—	—	達田油料	同同同同同	—	—	—
		—	—	—	鼠仁子麻	同同同同同	—	—	—
		—	—	—	乾鹽陶葦食	同同同同同	—	—	—
		274,740	—	2,403,700	酒海杏瓜胡	同同同同同	—	—	—
		—	—	—	曹麥牛重輕	同同同同同	—	—	—
		—	—	—	葉蘿大鮮粉	同同同同同	—	—	—
		4	—	—	胡椒等	同同同同同	—	—	—
		—	—	—	達田油料	同同同同同	—	—	—
		517	—	—	鼠仁子麻	同同同同同	—	—	—
		8,092	75	157	乾鹽陶葦食	同同同同同	—	—	—
		3,263	—	131	酒海杏瓜胡	同同同同同	—	—	—
		—	—	—	曹麥牛重輕	同同同同同	—	—	—
		—	—	14	葉蘿大鮮粉	同同同同同	—	—	—
		—	—	—	胡椒等	同同同同同	—	—	—
		—	—	—	達田油料	同同同同同	—	—	—
		—	—	—	鼠仁子麻	同同同同同	—	—	—
		—	—	—	乾鹽陶葦食	同同同同同	—	—	—
		2,625	—	26	酒海杏瓜胡	同同同同同	2,079	—	6
		254	—	—	曹麥牛重輕	同同同同同	1,492	—	220
		1,069	1,295	9,032	葉蘿大鮮粉	同同同同同	5,268	—	—
		—	—	—	胡椒等	同同同同同	952	—	52

品 目	單位	上 海	芝 罘	大 連	其 他	合 計
砂糖 (赤)	擔	22	—	—	—	22
	(白)	—	—	—	—	—
	"	888	—	—	99	937
草 刻	"	2	—	—	3	5
製	"	102	—	—	—	102
砂同茶煙木	三品					

輸出支那品仕向地別

(大正十年六月)

品 目	單位	日 本	露 國	英 國	香 港	其ノ他	大 連	上 海	其ノ他	合 計
生豆黃牛麥	頭擔	498	—	—	—	538	180	—	—	1,216
歐銅豚	打擔	18,672	—	—	—	—	—	—	—	18,672
山	噸	8,843	—	—	—	3,800	20	—	—	17,675
コ棉綿錫黑	擔	—	—	—	—	—	11,600	—	17,248	28,848
蛋蛋乾鷄鹽	擔	9,379	—	—	—	—	—	—	—	9,379
果硝落同頭	擔	1,458	—	—	—	—	—	—	—	1,458
麥鐵藥豆落	擔	—	—	—	—	—	—	45	—	45
梨鹽	噸	15,787	—	—	220	1,040	675	7,335	504	26,722
胡生同同	擔	526	—	—	—	—	306	45	—	877
同同層層生	擔	47	—	—	—	—	9	—	—	56
山生麥同同	擔	—	—	—	160	—	—	62	207	429
	擔	—	—	—	—	—	—	—	13	13
	個	—	—	—	—	—	—	—	36	36
	個	6	—	—	—	—	—	171	—	177
	個	35,983,175	—	—	—	—	—	—	—	35,983,175
	擔	—	—	—	—	—	—	—	94	94
	擔	—	—	—	—	—	—	6	1	7
	擔	—	—	—	16	—	—	67	339	422
	擔	1,971	—	—	180	2,604	841	3,940	—	9,536
	擔	11,803	—	—	636	36,121	420	68,343	78,945	196,268
	擔	10	—	—	—	—	—	9	—	19
	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	個	2	—	—	38	—	6	—	—	46
	擔	437	—	—	7,887	—	3,435	—	20,387	31,946
	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	擔	363,435	—	—	81,480	—	—	—	—	444,915
	擔	—	—	—	4	—	—	—	—	4
	擔	—	—	—	—	—	—	90	—	90
	擔	969	—	—	—	—	—	—	—	969
	擔	—	—	—	—	—	—	29	—	29
	擔	18	—	—	—	—	—	1	—	19
	擔	—	—	—	—	—	—	220	—	220
	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	擔	94	—	—	—	—	—	16	—	110
	擔	35	—	—	—	—	—	70	—	105
	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	擔	—	—	—	7	—	—	1	—	8
	擔	6	—	—	171	—	23	6	3	209
	枚	1,162	—	—	—	—	—	222	—	1,384
	枚	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	枚	—	—	—	—	—	—	219	—	219
	枚	723	—	—	19	—	—	295	—	1,037

品名	單位	日本	英國	米國	香港	其他	上海	大連	其他	合計
日石同曹醬	擔	585	—	—	—	—	—	—	—	585
本鹼	擔	3	—	—	—	—	16	—	—	19
化粧	擔	2,095	—	—	220	—	716	521	—	3,552
酒條用逢油	擔	64	—	5	—	—	1,335	10	—	1,414
砂糖	擔	347	—	—	—	—	—	186	—	533
砂同同茶	擔	—	—	—	15,011	—	—	—	—	15,011
糖精	擔	3,375	—	—	2,137	—	825	—	—	6,337
同同茶	擔	9,940	—	—	4,545	—	—	—	—	14,485
木同蔬	擔	50	—	—	1,273	—	—	352	—	1,675
材	擔	17	—	—	—	—	1	—	—	18
(堅)	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(軟)	擔	49,204	—	677,597	—	—	6,108	127,330	—	860,239
菜	擔	488	—	—	—	—	—	—	—	488

輸入支那品仕出地別

(大正十年六月)

品目	單位	上海	芝罘	大連	其他	合計
シ雲土花綿	正	17,980	—	—	—	17,980
チ齊色	擔	1,560	—	—	—	1,560
シ布	擔	9	—	—	—	9
グ布	擔	135	—	—	—	135
(上同)	擔	6,349	—	—	—	6,349
石幕	個	576	—	—	349	925
石幕	個	25,424	—	—	—	25,424
籍	擔	180	—	—	—	180
燭	擔	22	—	—	—	22
燭	擔	16	—	—	5	21
梁黍麥	擔	101	—	—	—	101
梁黍麥	擔	—	—	879	—	879
石草	擔	—	—	—	—	—
煙	擔	1	—	—	—	1
順	擔	1,509	—	24	11	1,544
開平	擔	—	—	1	—	1
花扇	擔	7,530	—	—	1,835	9,365
製製材油	擔	13,144	—	—	—	13,144
製製材油	擔	—	—	—	—	—
粉	擔	22	—	—	—	22
粉	擔	9	—	—	—	9
粉	擔	43	—	—	—	43
粉	擔	378	—	—	—	378
粉	擔	514	—	—	3	517
粉	擔	5,211	—	—	610	5,821
粉	擔	408	—	—	415	823
粉	擔	399	—	—	—	399
粉	擔	65	—	—	20	85
粉	擔	—	—	—	—	—
粉	擔	38	—	—	—	38
粉	擔	—	—	—	—	—
粉	擔	1,048	—	—	—	1,048
粉	擔	4	—	—	—	4
粉	擔	136	—	—	—	136

品名	單位	日本	英國	米國	香港	其他	上海	大連	其他	合計
鐵板線	擔	—	—	—	—	—	70	—	—	70
鐵片及軟鐵	擔	15	—	—	109	2	483	—	—	609
鐵片及軟鐵	擔	183	—	—	815	—	147	—	—	1,145
鐵片及軟鐵	擔	7	—	—	15	—	24	—	—	46
鐵片及軟鐵	擔	4,181	—	—	3,258	—	630	30	—	8,099
鍍鉛鋼葉白銅片及	擔	7	—	—	—	—	40	—	—	47
鍍鉛鋼葉白銅片及	擔	—	—	—	81	—	—	—	—	81
鍍鉛鋼葉白銅片及	擔	—	—	—	—	—	50	—	—	50
鍍鉛鋼葉白銅片及	擔	—	—	—	53	—	—	—	—	53
鍍鉛鋼葉白銅片及	擔	—	—	—	—	—	2	—	—	2
麻麥海綿	擔	549	—	—	10,105	—	510	—	—	11,164
麻麥海綿	擔	3,648	—	—	—	—	1,042	600	540	5,830
麻麥海綿	擔	15	—	—	—	90	2	14	—	121
麻麥海綿	擔	9	—	—	—	—	—	—	—	9
銅鈕釦	擔	—	—	—	—	—	5	—	—	5
銅鈕釦	擔	1,546	—	—	100	—	—	—	—	1,646
銅鈕釦	擔	8	—	—	—	—	478	—	—	486
銅鈕釦	擔	—	—	—	—	—	3	—	—	3
銅鈕釦	擔	16,761	—	—	—	—	—	—	—	16,761
木磁紙同掛	噸	1,679	—	—	—	—	—	—	—	1,679
木磁紙同掛	噸	3,232	—	—	—	—	156	368	—	3,756
木磁紙同掛	噸	—	—	—	—	81	1,005	—	—	1,686
木磁紙同掛	噸	814	—	—	—	—	—	100	—	106
木磁紙同掛	噸	—	—	—	—	—	—	—	—	814
石干棉人	噸	905	—	—	—	—	—	—	—	905
石干棉人	噸	2,644	—	—	—	—	2	—	—	2
石干棉人	噸	505	—	—	—	601	1,187	—	—	4,432
石干棉人	噸	—	—	—	—	—	7,348	—	—	7,853
石干棉人	噸	—	—	—	—	—	1,538	—	24	1,562
天白龍電	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
天白龍電	擔	10	—	—	60	—	—	—	—	70
天白龍電	擔	6,285	—	1,991	—	31	7,073	80	—	15,460
天白龍電	擔	230	—	—	—	—	—	10	—	240
麥窓硝洋燭	擔	16	—	—	—	—	33	—	—	49
麥窓硝洋燭	擔	506	—	—	—	—	91	—	—	597
麥窓硝洋燭	擔	1,368	—	—	—	—	1,127	—	—	2,495
麥窓硝洋燭	擔	1,901	—	—	—	—	1,272	—	—	3,173
麥窓硝洋燭	擔	84,151	—	—	—	—	—	—	—	84,151
同疊藥コ針	擔	450	—	—	—	—	—	10,767	—	11,217
同疊藥コ針	擔	11,962	—	—	2,400	—	—	1,200	—	15,562
同疊藥コ針	擔	13,046	—	—	239	—	195	32	—	13,612
同疊藥コ針	擔	—	—	—	—	—	10	4	—	14
同疊藥コ針	擔	2,795	—	—	—	100	1,000	—	—	3,895
石同ス同同	擔	—	—	—	—	—	430,253	—	—	43,025.3
石同ス同同	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石同ス同同	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石同ス同同	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
橘紙胡昆	擔	115	—	—	—	—	—	—	—	115
橘紙胡昆	擔	1,025	—	—	—	—	302	16	39	1,382
橘紙胡昆	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
橘紙胡昆	擔	3,590	—	—	910	8	—	—	—	4,508
橘紙胡昆	擔	26	—	—	88	—	—	—	—	114

青島港輸出入貿易

(大正十年六月)

—膠海關貿易統計—

輸入外國品仕出地別

品名	單位	日本	英國	米國	香港	其他	上海	大連	其他	合計
生金布	疋	9,020	—	—	—	—	16,425	—	—	25,445
シ-チング (米品)	"	—	—	—	—	—	2,660	—	—	2,660
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	3,560	—	—	3,560
同 (日本品)	"	9,980	—	—	—	—	3,440	3,260	—	16,680
晒金巾	"	2,295	—	—	—	—	9,631	—	—	11,926
綾雲金巾	"	—	—	—	—	—	3	—	—	3
齊布 (米品)	"	—	—	—	—	—	330	—	—	330
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	250	—	—	250
同 (日本品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ジエ-ン (米品)	"	—	—	—	—	—	120	—	—	120
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	4,460	—	—	4,460
同 (日本品)	"	—	—	—	—	—	160	—	—	160
竺布三十時	"	—	—	—	—	—	10,233	—	—	10,233
同 (日本品)	"	5,360	—	—	—	—	80	—	—	5,440
同 冷紗及綿紗	"	20	—	—	—	—	1,404	—	—	1,424
縐斜捺捺	"	600	—	—	—	—	7,553	—	—	8,153
紋綿天	"	—	—	—	—	—	417	—	—	417
縐綿竺	"	—	—	—	—	—	114	—	—	114
同 (日本品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	3,087	—	—	3,087
同 (日本品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 染色綾布	"	1,136	—	—	—	—	5,831	—	—	6,967
同 染色綾布	"	—	—	—	—	—	2,660	—	—	2,660
同 染色綾布	"	240	—	—	—	—	459	282	—	981
同 染色綾布	"	—	—	—	—	—	60	—	—	60
同 金巾及綿天	"	4,860	—	—	—	—	678	—	—	5,538
縐スバニストライプ六十時	"	—	—	—	—	—	236	—	—	236
綿フランネル	"	441	—	—	—	—	—	—	—	441
同 フランケツ	"	7	—	—	—	—	—	—	—	7
同 手巾	"	148	—	—	—	—	213	—	—	397
同 オ	"	1	—	—	—	—	—	—	—	1
同 織絲 (日本品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 織絲 (印度品)	"	—	—	—	—	—	276	—	—	276
同 織絲 (日本品)	"	7,261	—	—	—	—	40	—	—	7,301
同 織絲 (日本品)	"	2,234	—	—	—	—	236	—	—	2,470
同 織絲 (日本品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
伯林織物及毛絲	斤	1	—	—	—	—	20	—	—	21
絹 (金)	斤	1,976	—	—	—	—	437	—	—	2,413
銅片	擔	17	—	—	—	—	4	—	—	21
銅板	"	12	—	—	—	—	4	—	—	16
銅 (鐵及軟鐵新)	"	14	—	—	—	—	—	—	—	14
鐵屑及屑鐵	"	1,928	—	—	375	—	1,721	—	—	4,024
鐵條	"	—	—	—	256	—	472	—	—	728

青島實業協會員

(定不序順)

會	員	代表者	所	會	員	代表者	所
岩城商會支店	伊藤忠商事株式會社青島支店	田邊郁太郎	早舟町	山東葉煙草株式會社	伊東經真	輕藻町	
原田汽船株式會社青島支店	川畑竹馬	所澤町	所澤町	江商株式會社青島支店	一宮晃	所澤町	
日本郵船株式會社青島出張事務所	西岡勝三郎	所澤町	所澤町	安部幸兵衛商店青島出張店	副島高市	所澤町	
日本綿花株式會社青島支店	鶴原梅次郎	北京町	北京町	湯淺貿易株式會社青島出張所	小林乃	所澤町	
東和公司青島支店	河原熊太郎	北京町	北京町	三井物產株式會社青島支店	櫻井信四郎	所澤町	
東亞煙草株式會社青島販賣所	西村義郎	北京町	北京町	峯村洋行	大塚彌	所澤町	
朝鮮銀行青島支店	讚井源輔	所澤町	所澤町	合名會社鈴木商店青島出張所	迫田彦助	吳淞町	
大倉商事株式會社青島出張所	石橋藤次郎	早霧町	早霧町	中村組青島支店	星野佐紀	吳淞町	
橫濱正金銀行青島支店	渡邊禮	所澤町	所澤町	東洋鹽業株式會社青島支店	貝原收藏	大和町	
大連汽船株式會社青島出張所	松本文三郎	葉櫻町	葉櫻町	泰利商會	松崎翠	早霧町	
大日本麥酒株式會社青島出張所	三宅重孝	臺東鎮長通	臺東鎮長通	山東興業株式會社	空閑知鷺治	葉櫻町	
內外綿株式會社青島出張所	佐々木國藏	市外四方庄	市外四方庄	吉澤洋行	吉澤干城	市場通	
山田出張所	山田三平	早霧町	早霧町	青島製粉株式會社支店	百溪深	三月月町	
三菱商事株式會社青島出張所	東條吉之助	市場通	市場通	新利洋行出張所	古賀茂登吉	野山町	
神戶棧橋株式會社青島派出所	鹽谷治太郎	早舟町	早舟町	福昌公司青島出張所	武田昌雄	若葉町	
山東運輸株式會社青島支店	神谷武松	葉櫻町	葉櫻町	龍口銀行青島支店	原田昇	保定町	
日華協信公司青島支店	千秋寬	北京町	北京町	濱口商事株式會社青島出張所	榎本勝吉	吳淞町	
青島絲廠	鈴木格三郎	若鶴町	若鶴町	青島銀行	石井久次	市場通	
山東化學工業所	磯野清平	若鶴町	若鶴町	日華窯業株式會社	中村康之助	滄口町	
青島鹽業株式會社	入部泰藏	早霧町	早霧町	大日本紡績株式會社	河村英熊	筑後町	
東洋殖殖株式會社青島支店	針貝金次郎	佐賀町	佐賀町	正隆銀行支店	松本正平	大黑町	
東洋製油株式會社青島支店	田中穆	若鶴町	若鶴町				
大星公司青島支店	遠藤要	堺町	堺町				
青島取引所信託株式會社	峰村正三	靜岡町	靜岡町				

大正十年八月二十日發行

大正七年八月十九日第三種郵便物認可（毎月一回二十日發行）

發行兼編輯者
發行所
印刷所
印刷人

青島靜岡町十番地	吉見正任
青島靜岡町十番地	青島實業協會
青島靜岡町十四番地	青島新報社
青島靜岡町十四番地	足立孝

(實費金參拾錢)